

# The Philatelist Magazine

第 12 号 (2016 秋号)



日本 1922 4 銭普通切手 異物を載せた状態の用紙上に印刷 (三号連続富士鹿特集 その1)

## The Philatelist Magazine

当誌は、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が運営する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。機関誌は年 4 回 PDF で発行され、年会費 (2,000 円) を納めた会員には発行の都度登録 E メールに通知があり「マイ・スタンペディア」よりダウンロードできます。また印刷して読みたいという要望に応えコピーしホチキスで綴じた紙版をお送りするサービスも提供中です。

# 当誌の読み方・使い方

## 当誌の位置づけ

当誌は無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が運営する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。機関誌はPDFで発行され、年会費を納めた会員には、発行の都度登録Eメールに通知があり「マイ・スタンペディア」(右図)よりダウンロードできます。



## PDFの保存方法

ダウンロードしたPDFは、パソコンやスマホ等に保存できます。一旦保存するとそれ以降はいつでも好きな時にPDF版をご利用(閲覧、印刷など)頂けます。

## PDF版をご自分で印刷して読む方へ

当誌の購読者は、PDF版をご自分の閲覧用に印刷することができます。3ページの刊行趣旨と編集方針の為ページ数が多いので、全てのページを印刷するよりは興味あるページのみを印刷する方法をオススメいたします。また視力の弱い方にも十分楽しんで頂ける様に、文字サイズや図版が大きくなるよう編集しています。**視力の良い方は『2 in 1』(プリンターの機能で、1枚の用紙に2ページ分印刷する方法)等をご活用頂いても十分読むことが可能です。**

## PDF版の興味ある記事だけを印刷して読む方法

目次が4ページにありますので、興味のある記事を見つけ、印刷を行ってください。本文をざっと流し読みして、印刷してじっくり読む記事を見つけるというやり方もあると思います。なお当誌では表紙を1ページ目としてページの割り付けを行っております(ページ番号は各ページのフッタに表示しています)ので、印刷に指定するページ番号も目次のページ番号と一致しております。

## PDF版をパソコン、iPadで読む方法(オススメ)

PDF版は、Adobe Reader等のPDF閲覧アプリを用いてご覧頂くことを推奨しており(右の画面)、WEBブラウザでの閲覧はオススメしておりません。

左側にある、しおりマーク(→→)を押すと目次が表示され、各タイトルをクリックすることで、主画面が読みたい記事の内容に変わります。

iPad, iPad miniでも快適にご覧いただけます。



## 紙版をご覧の方へ

当誌はPDFで読むことを前提とした新しいスタイルの郵趣雑誌です。このやり方により幅広い記事の取り扱いが可能となり、質・量ともに十分な総合郵趣雑誌が提供できるようになりました。また次ページの様な刊行趣旨と編集方針の為、ページ数が結果として多くなっています。

一方、PDF雑誌を発行する中で、有料で良いので内容をそのまま紙に印刷して欲しいとのご要望が寄せられる事が多くありました。

ご自宅のパソコンで印刷するよりもそちらの方が便利だからという理由であり、その様なご要望にお応えする為、コピーしホチキスで綴じた紙版をお送りするサービスも提供を始めました。このような位置づけでよろしければご注文ください。

「フィラテリストマガジン」第13号(2016/12/15発行予定)以降の予約購読を希望される方へ

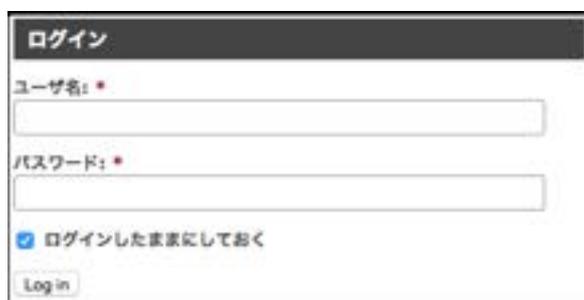
- 紙に印刷された冊子を購読希望の場合は、モノクロ10,000円、カラー20,000円をご送金ください。(2017年12月31日までの期間に、3ヶ月に一度発行される通常号(付録含まず)5回分を郵送します)
  - PDFによる購読を希望される場合は、4,000円をご送金の上、電子メールをご連絡ください。(2017年12月31日までの間、2016, 2017年に発行される通常号・号外すべてのPDFをダウンロードできます)
- 郵便振替:00100-6-323638 (加入者名 吉田敬)[申込マ 2016年12月5日]

## 新しい郵趣のポータルサイト マイ・スタンペディアの使い方

「ザ・フィラテリストマガジン」のダウンロードはもちろんのこと「スタンペディア日本版」会員の各種特典をご利用頂くために、「マイ・スタンペディア」という新しい郵趣のポータルサイトにアクセスしてください。 <http://my.stampedia.net/ja>

情報量の少ないPDFを電子メールに添付する事は難しくありませんが、スタンペディアの目指す大容量の情報のPDF配信を可能にする為、また対価をお支払い頂いている会員にのみサービスを提供する為に構築した情報配信システムがマイ・スタンペディアです。

「IDやパスワードを用いるサイトは面倒くさい」というご意見を伺う事も多い為、課題点を検証し、最終ログインから百日以内であれば、一々IDとパスワードを入力しなくても自動ログインできる機能を作りました。(右図) 機関誌の発行間隔が約90日であることを考えますと、当該課題は解決できていると思います。



ログイン画面で「ログインしたままにしておく」のチェックを外さない事により実現

また機関誌のダウンロード以外に利用権利が提供される

各種サービスへの入口もこの「マイ・スタンペディア」となります。現時点で次の2サービスがご利用いただけます。

- ・日本切手図入りリーフ (2014年, 2015年)
- ・エコー葉書データベース
- ・郵趣記事データベース

将来的には(しかも近い将来)会員サービスを利用するだけの場所ではなく、地域ごとの郵趣イベントカレンダーを表示する等のフィラテリストの交流ができるような仕掛けも作って行きたいと思っておりますのでどうぞご期待ください。



上から「機関誌ダウンロード」「郵趣データベース」「図入りアルバムリーフのダウンロード」と並ぶサービス類。2015年は会員は無料で利用できる。(順次拡大)

以前毎号掲載していた「刊行趣旨と編集方針」は、現在ホームページに掲載しております。

# The Philatelist Magazine 第12号 クリックブル目次

\* PDF で目次をクリックすると各ページにジャンプします

当誌の読み方・使い方、マイ・スタンペディアの使い方		P.02-03
2017年のメンバーシップについて		P.06-07
郵趣界重大ニュース		P.08-11
郵趣カレンダー		P.14-29
切手市場	高崎 真一	P.16-17
スタンプショウかごしま2016	JPS 鹿児島支部	P.18
第19回千葉切手展	千葉県郵趣連合・市川郵趣会	P.19
MELBOURNE2017 作品募集	長島 裕信	P.20
PHILA TAIPEI 2017		P.21
第4回ヨーロッパ切手展	アルプス・ヨーロッパ切手部会	P.22-23
第7回世界の植物切手展	JPS 植物切手部会	P.25
第2回製造面勉強会		P.26
「地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の紹介」の開始について		P.28
地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の紹介 第1回 市川郵趣会・会報「市川郵趣」		P.29
私の発見・私の報告		P.30-35
レターパックの新種発見	木戸 裕介	P.30
新潟中央のローラー印「ほくろ新潟」について	伊藤 和彦	P.31
インクジェット式機械印の新仙台・東京北部局における使用開始	鈴木 盛雄、藤田俊則	P.32-25
謎解き郵趣		P.37-40
答え合わせ：輸出用に、脇付き葉書の様に偽加刷が施された、脇なしハガキ	古畑 健三郎	P.38-39
出題：南方占領地フィリピンのカバー	鏑木 顕	P.40
寄稿記事・郵趣論文		P.41-115
世界のクラシック切手第9回 英領ケープ植民地 (Cape of Good Hope) 切手について (下)	池田 健三郎	P.42-56
世界のセミクラシック切手第1回 ラトビアの地図切手	石田 徹	P.57-61
クリミアにおける郵便事情		
著作：ゲナディー・ベルマン、ドミトリー・チズマコフ、監修：荒木寛隆、伊藤文久		P.62-78
日本のコイル切手～昭和コイル切手を中心に～	伊藤 純英	P.79-102
和欧文機械印トピックス (第10回)	水谷 行秀	P.104-107
農地委員会選挙郵便	行徳 国宏	P.108-113
切手別納郵便制度への追記	行徳 国宏	P.114-115
コレクションの作り方		P.116-133
国際展初攻略大作戦		P.117-125
リーフの作り方	重山 優	P.126-133

郵趣活動の記録		P.134-158
Thailand2016		P.135
全日本切手展 2016 受賞記録抜粋		P.136-137
全日展 2016 参観記	長野 行洋	P.138-146
古今東西郵趣文献書評 最近の情報 150 号記念 (小判振舞処)	木戸裕介	P.148
ジャパNSTAMP オークションニアレポ	鯛 道治	P.150-158

## 広告一覧

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 [ P.27, 36, 103, 147, 149, 160 ]

JPS アルプス・ヨーロッパ切手部会 [P.24] 委託販売広告 [ P.12-13 ]

付録 Melbourne2017 IREX 内容抜粋及び全日本切手展 2016 出品作品より 6 作品を全リーフ掲載  
 小判 5 厘切手 (長野行洋) 小判往復はがき (石代博之) Small OX stamps issued in Grand Duchy  
 of MECKLENBURG-SCHWERIN (吉田敬) うなぎ (吉田敬) 第一次昭和切手 (菊地恵実) 第三次動  
 植物国宝切手 (吉田敬)

\* 号外および付録は年間紙版オプション申込による予約配送品の対象外となります。紙版をご希望の方は以下をご覧ください。

### スタンペディア日本版 2016 年会費 [2016/1/1-12/31 に有効] をお支払い済みの方の特典

- 機関誌「ザ・フィラテリスト・マガジン」2016 年発行分 PDF の無料ダウンロード権利  
 3/15, 6/15, 9/15, 12/15 の発行を予定しています。
- オンライン郵趣データベースの使用権利  
 郵趣記事やエコ葉書のデータベースを無料で使用できるサービスです。
- 函入りアルバムリーフ (PDF) の無料ダウンロード権利  
 日本切手等の函入りリーフを提供します。
- 紙版オプション等の特別価格での予約購入権利  
 機関誌を PDF に加えて印刷された状態でも読みたい会員へのサービスです。  
 機関誌通常号 (付録含まず) を当社でコピー・ホチキス製本した冊子を有償で提供いたします。  
 年間予約された場合に限り、ページ数が 100 を超える大冊の場合も追加料金を頂きません。  
 モノクロオプション 6,000 円 / 年, カラー・オプション 14,000 円 / 年
- 通常、製造販売していない付録の紙版の一部やバックナンバーについて、実費 +  $\alpha$  で簡易製本してお届けします。100 ページあたり、モノクロ 1,000 円 / 冊, カラー 3,000 円 / 冊 (送料別) 程度での提供となります。お問い合わせください。

### 号外紙版等自動発送制度および預託金システムのご案内

- 紙版オプションを申し込んでも発送対象とならない、機関誌「ザ・フィラテリスト・マガジン」号外の紙版 (年 4-5 回の発行です) および年一回刊行の Stampedia Philatelic Journal を、預託金のある限り自動発送する制度です。
- 号外自動発送予約された場合に限り、ページ数が 100 を超える大冊の場合も追加料金を頂きません。  
 モノクロ 1,500 円 / 号, カラー 3,500 円 / 号 (ともに送料共)
- お申し込みは、ご送金と共に、「号外自動発送制度希望」とご連絡ください。
- 「号外自動発送制度」希望の有無に関わらず、預託金システムを準備しておりますので、ご活用ください。

## [ 会員向け ] スタンペディア日本版 会費更新のご案内 2017年のメンバーシップについて

スタンペディア日本版会員各位

改めてのご挨拶となりますが、「スタンペディア日本版」の2016年分会費をご納入くださいましてありがとうございます。おかげさまで当誌は400名近くの会員を抱える郵趣雑誌として、残り数ヶ月となった2年目も無事終えることができる見込みです。

一月半後の11月には、来年の会費の更新を開始いたしますので、その詳細を予めご案内いたします。

年会費： 2,000 円

会費有効期間：2017年1月1日-12月31日

更新会費の支払受付開始日：11/11（予定）

### 会員特典

1. 機関誌「ザ・フィラテリスト・マガジン」2017年発行分PDFの無料ダウンロード権利  
3/15, 6/15, 9/15, 12/15 の4回の発行を予定しています。

2. オンライン郵趣データベースの2017年中の使用権利  
郵趣記事検索やエコー葉書のデータベースを無料で使用できます。

3. 図入りリーフ (PDF) の無料ダウンロード権利  
様々な図入りリーフを制作し、ダウンロードして使用できるようにしております。  
日本切手2016年分についても年内に提供開始予定です。

4. 機関誌 (紙版) の特価予約権利  
年間予約された場合に限り、ページ数が100を超える大冊の場合も追加料金を頂かず、  
一号あたりモノクロ1,500円、カラー3,500円で販売いたします。(送料・発送料込み)

\*なお紙版の提供価格は、ページ数100を前提として決定した価格です。皆様ご承知の通り、本年発行号の平均ページ数は200ページに近く正直大幅に値上げをさせていただきたい気持ちもございます。ただまだ本発行してから3年目であることから、誌代の大幅な値上げは、皆様に過重なご負担になるだろうと考え、この価格とさせていただきました。どうぞご理解の上、将来的な紙版の値上げがあるであろうことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

## 会費更新方法

(1) 郵便振替

ゆうちょ振替口座 00100-6-323638 加入者名 吉田 敬

(2) 銀行送金

楽天銀行 ロック支店 普通7027345

加入者名 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

(3) Paypal

kaimono@kitte.com

(4) 現金で支払う (以下4つの会場で時間限定で現金による支払いをお受けする予定です)

11/12 切手市場 10:00-14:00

11/16 いずみ切手研究会 10:00-12:00

11/27 ジャパンスタンプ東京下見会 10:00-15:00

12/4 大阪駅前切手バザール2日目 10:00-13:00

更新会費の支払い受付開始日は2016年11月11日の予定です

詳細につきましては、電子メールニュースおよびフィラテリストマガジン第13号でご案内差し上げますので、そちらをお待ちください。

「スタンペディア日本版」会員になることを検討されている方向けのご案内

「フィラテリストマガジン」第13号(2016/12/15発行予定)以降の予約購読を希望される方へ

- 紙に印刷された冊子を購読希望の場合は、モノクロ10,000円、カラー20,000円をご送金ください。(2017年12月31日までの期間に、3ヶ月に一度発行される通常号(付録含まず)5回分を郵送します)
  - PDFによる購読を希望される場合は、4,000円をご送金の上、電子メールをご連絡ください。(2017年12月31日までの間、2016、2017年に発行される通常号・号外すべてのPDFをダウンロードできます)
- 郵便振替:00100-6-323638 (加入者名 吉田敬)[申込済 2016年12月5日]

# 郵趣界重大ニュース

2016年6月～2016年9月

## 1 モーリシャス ポストオフィス 唯一の混貼りカバーが約 4.2 億円で販売される

チェコ共和国の英字新聞「Prague Daily Monitor」が8月18日に報道したところによれば、英領モーリシャスの一番シリーズで、「Mauritius Post Office」の愛称で知られる1ペンス切手と2ペンス切手を貼ったカバーがチェコ人と思われる不特定の人物により約4.2億円で落札されたと報じました。

モーリシャスのポストオフィス切手は、研究の結果、センサス（戸籍）が作られており、同カバーは「No.XXI and XXII」に該当し、唯一の二種貼りです。かつて所有したフィラテリストは、リヒテンシュタイン氏、アーサー・ハインド氏、モーリス・ヴェルス氏、金井宏之氏等となっています。

このカバーはスイスの切手商デビッド・フェルドマンが取り扱っていた商品で、以前国際展で価格を尋ねた折りには、約5.5億円でしたので、報道が正確であれば、思惑よりもだいぶ安い価格で販売されたこととなります。

なおこのカバーは、2018年8月にプラハで開催される国際切手展 Prague 2018 で展示予定です。



Prague Daily Monitor Web サイトより

## 2 JPS の会員数減少が下げ止まる

公益財団法人日本郵趣協会は、7月、2015年度決算報告書をインターネット上に発表し、会員数が8,052名に減少したことを発表しました。会員数は対前年で524人のマイナスで、この点だけを見れば悲観的になる方もいらっしゃると思いますが、私はむしろ以下の点で、昨年度は大善戦し、本年度は復活へのターンに期待できると考えています。

1. この4年間の会員数の減少は以下の通りであり、減少数も減少率も最も良いポイントである。

- 2012年度 -584人
- 2013年度 -603人
- 2014年度 -624人
- 2015年度 -524人

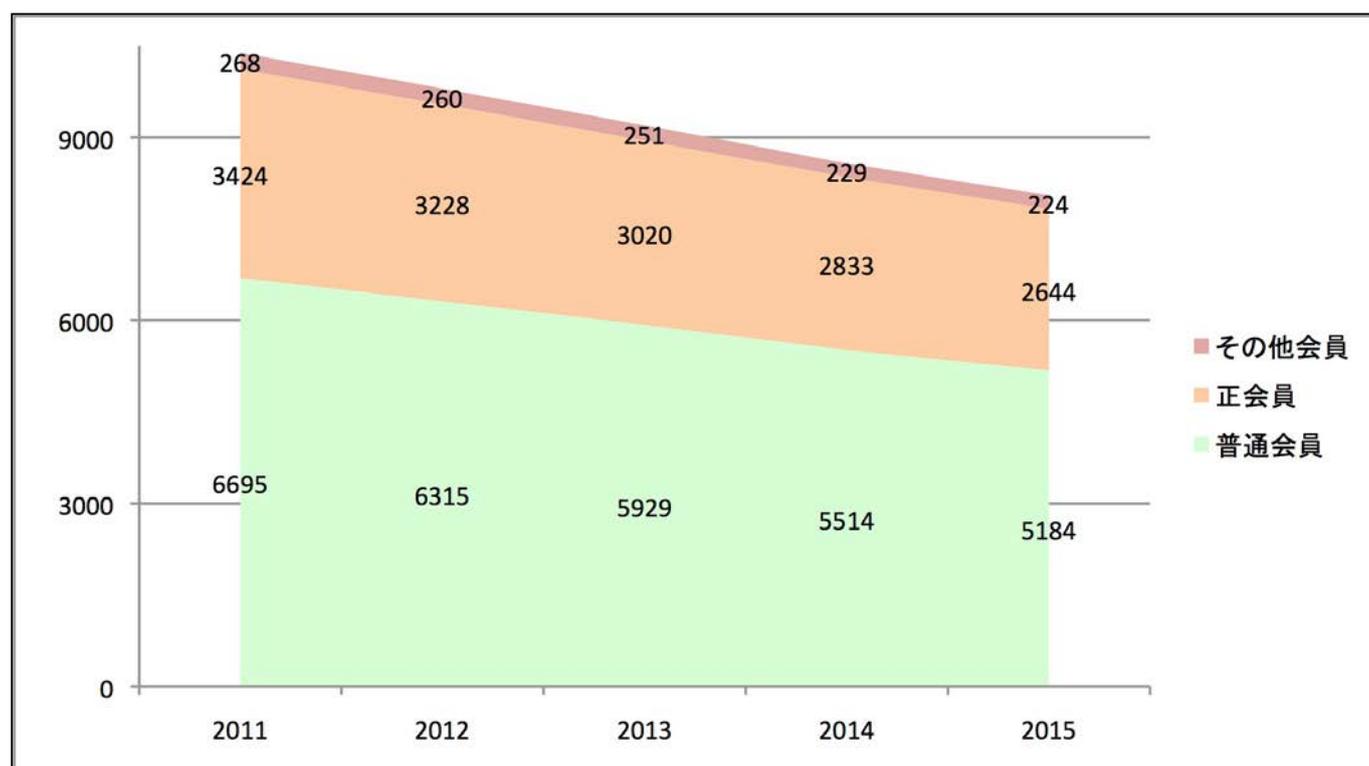
2. 一昨年の会費値上げで、本来であれば昨年の会員減少は例年水準の維持すら難しいはずだった。

3. これに加えて2016年度は「郵趣を購読せず、会費も割安なWEB会員制度」を導入しており、新規会員の増加を期待できる。また図らずも、機関紙「郵趣」に価値を見出さないフィラテリストへの代替手段を提供したと言える。

なお、この結果は私が「フィラテリストマガジン」の「重大ニュース」昨年9月15日号（第8号）に書いた記事の予測に非常に近く、良い結果を先取りできたことに満足しています。

日本郵趣協会に対しては色々な感情をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、私は現在の日本の郵趣を成立させている個人・団体の中で第一級の功労者の一つであると考えています。中でも同法人なくしては存立し得ない、(1) 二大競争展の一つである JAPEX と、(2) 年間を通じて開催されるミニペックスは重要で、それなくしては日本の郵趣は大きく後退してしまいます。従って私は日本郵趣協会は「なくては困る」と考えており、一昨年より少しでも財政の健全化のお役に立てればと考え維持会員になっております。

もちろん郵趣信仰は他力本願や口先だけではダメだと私は思います。なので上記と並行して、日本郵趣協会がなくなった場合にフィラテリストの郵趣活動が立ち行かなくならぬよう「JPSがなくなったら困る事リスト」を数年前にまとめて、それを一つずつ潰してきているつもりではあります。その成果が表れている部分もありますが、全部そろうにはまだ数年はかかると思いますので、それまでは日本郵趣協会を維持会員として絶対に支えたいと考えています。



公益財団法人日本郵趣協会の会員数の推移（2011年～2015年）数値は同法人のホームページより

### 3 第1回 製造面勉強会 開催、64名の参加を集める

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社は、第1回製造面勉強会という日本フィラテリーの勉強会を、東京都中央区の綿商会館5階で、7月2日に開催し、64名の方が参加されました。

講演を主な内容とする同勉強会の初回講師は魚木五夫氏と長田伊玖雄氏で以下講演が行われました。

「収集家から見た製造技術」 魚木五夫氏

「小判切手製造面調査研究の足跡」 長田伊玖雄氏

会費 2,000 円を支払い参加する勉強会であるため、参加者も真剣で、いずれの講義にも質問が相次いだほか、休憩時間には、講師が展示したビニールフレームの前に人が集まり、郵趣談義に多くの方が参加されておられました。また休憩時間のみ開店する製造面を中心とした特別即売（エージェントスタンプほか）も多くの方に好評でした。第1回勉強会の好評を受けて、今後の定期的な開催（1月と7月）が決定しております。

次回は、来年正月あけの2017年1月7日（土）に、東京都中央区の綿商会館1階で開催され、すでに参加者の募集が始まっていますので、参加希望者はご案内をご覧ください、ご応募ください。

なお、首都圏以外の地域からの参加者も多いため、2時間といった短時間の開催でなく、1日を通じた勉強会の運営を行い、講演の時間と本数を確保するように改善いたしました。講義同士の間には十分な休憩時間を確保し、お弁当もお出しいたしますので、一日を通じてゆったりとフィラテリーの勉強をする機会と捉えていただければ幸いです。



「収集家から見た製造技術」を講演し、質疑応答を行う魚木五夫氏（左）

#### 4 日本郵趣協会に新しい部会が誕生。

公益財団法人 日本郵趣協会の新しい部会として、「アルプス・ヨーロッパ切手部会」が設立されました。JPS の部会認定を目指して 2014 年 6 月に設立された「アルプス・ヨーロッパ切手の会」は、同月に JPS に対して部会設立を申請しました。この申請が 2 年 2 ヶ月の期間を経て、2016 年 8 月に同法人の理事会の決議にて無事承認されたものです。

日本郵趣協会に新しい部会が設置されるのは久しぶりのことです。手元にある「郵趣」2004 年 1 月号をみたところ、少なくとも現存する部会はすべて 2004 年には設立されていました。従いまして、現存する部会でこの 12 年間に設立されたものはないようです。

同部会は、アルプス・ヨーロッパの諸国（フランス、イタリア、スイス、オーストリー、スロベニア、リヒテンシュタイン、モナコ、サンマリノ、バチカン）を中心とした国々の、伝統郵趣、郵便史、カタログコレクションを楽しむフィラテリストのサークルで、第 4 回ヨーロッパ切手展 (10/29-30) および JAPEX2016(11/4-6) の会期より会員募集を開始します。

なお、現在の同会会員全員の収集範囲を重ね合わせると、ヨーロッパのすべての国を網羅できるため、上記以外のヨーロッパの国々の内、JPS に部会の存在しない国々（例えば、ポルトガルやギリシャなど）の切手を収集しているフィラテリストの入会も歓迎するとのことでした。

#### \* 重大ニュースから漏れた主なニューストピックス

##### 日本郵便、次々とレターブックを発売

My 旅切手 (2,000 円 2 万部) ぽすくまおたよりセット (980 円 2 万部) など、額面以上の価格で販売する切手が隔月か毎月に近いペースで発行されるようになりました。

##### 平成 29 年用「年賀お年玉小型シート」の一般販売

お年玉くじ 3 等商品として当選引き換えが実施されるほか、切手 SHOP（インターネット通販）での一般販売が実施されることになりました。(2017/1/16 発行)

##### ポストパケットの廃止とゆうパケットの拡充

日本郵便の小型物品配達サービス「ポストパケット」(360 円) が 9 月 30 日で廃止され、翌日の 10 月 1 日からこれまで大口向けサービスとされてきた「ポストパケット」が個人向けにも提供されるようになります。(運賃三段階 250, 300, 350 円)

##### 天皇陛下が、8 月 8 日に、生前退位をにじませたお気持ちを表明

元号法第 2 条「元号は、皇位の継承があつた場合に限り改める。」により、近い将来に、日付印の元号が再度「1」に戻る可能性が出てきました。

前号でのご好評を受け再度のご案内 限定2組！  
人気の高い速達郵便史の大コレクションを特別提供

## 70年にわたる「速達郵便史」5フレーム80頁 競争展仕様 超弩級コレクション 初期～昭和末期

*Postal History of Express Delivery in Japan*

国際的にも評価の高まる、日本の速達郵便史。  
そのエッセンスを一括入手できる千載一遇の好機。

近年国際切手展における上位入賞テーマとして急速に評価が高まりつつある、日本の急速郵便史（別配達・速達）。飛脚時代の急速便に始まり、別配達・別仕立に続いて速達制度導入以降は地域拡充と全国化に至ります。そして戦禍による機能不全と復興を経て戦後の新郵便法時代へ。郵便史、そして通信発達史としての重要性や複雑性、そして多くの希少なマテリアルの存在から、収集対象としての魅力は極めて高いと言えます。

近年、その面白さから愛好者も増加し、キー・アイテムの争奪戦は熾烈を極めています。当然、難所・急所も少なくないため、一つのコレクションとしてまとめ上げることはもちろん、ベース・コレクションを作り上げることも決して容易なことではありません。

本誌前号では、選りすぐりのマテリアルで構成され、競争展出品をも考慮して高度な構成と専門的な書き込みを施した、飛脚・別配達・別仕立を含む急速郵便史の大河コレクションを特別提供いたしましたところ、大きな反響をいただきました。ご提供数1組のみということで、厳正な抽選を経て頒布いたしました。抽選に漏れた方々には大変申し訳なく存じます。

そこで今号では、前号でのご好評を受け、前回ご提供品と同じコンセプトで作られたコレクションを2組限定でご案内できることとなりました。前号ご案内のように高価で入手困難な「別配達」は含まれず、「速達」に限定したコレクションとなっておりますが、初期から昭和末期までの全ての速達料金を網羅した構成となっており、別配達が含まれない分だけ、お求めやすい価格でのご提供が可能となりました。1リーフあたり3,000円を切る特別価格でのご提供でございます。

ベーシック・ラインをしっかりと押さえ、さらに付加価値の高いアイテムを追加したコレクションは、このままでも既に全国レベル競争展への出品に堪える水準をクリアしておりこれに個々のコレクターのエッセンスを加味してさらに充実をはかることにより、将来的に極めて優れた郵便史専門コレクションへの発展が可能となります。

この水準のコレクションの形成は、長年にわたるマテリアルの入手努力に加え、郵便史の広範な知識やノウハウの習得に長期間を要すると考えられる困難な道程ですが、このコレクションにより専門知識も含めたマテリアルの一括入手が可能となることから、その「知識習得と個々のアイテムを丹念に蒐集するに要する時間を一挙に飛び越えられる」バリューは計り知れません。このチャンスにこの大コレクションを入手し高度な郵便史専門収集への第一歩を踏み出してみませんか？

二点限り  
特別提供  
抽選販売

# 100年間の急速郵便史 垂涎の大河コレクション

コレクションの一例 (全リーフはウェブで閲覧可能です。)

**速達郵便史**  
1924-81

この展覧会を機に、昭和初期の速達郵便の歴史を振り返る。昭和初期は、速達郵便の普及が著しく、航空郵便の導入も進んだ。この時期の速達郵便は、戦前最後の速達郵便であり、戦後の急速郵便とは異なる特徴がある。

年	郵便種別	料金	備考
1924	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1925	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1926	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1927	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1928	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1929	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1930	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1931	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1932	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1933	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1934	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1935	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1936	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1937	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1938	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1939	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1940	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1941	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1942	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1943	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1944	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1945	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1946	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1947	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1948	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1949	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1950	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1951	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1952	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1953	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1954	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1955	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1956	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1957	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1958	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1959	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1960	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1961	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1962	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1963	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1964	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1965	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1966	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1967	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1968	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1969	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1970	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1971	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1972	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1973	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1974	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1975	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1976	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1977	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1978	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1979	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1980	速達郵便	6銭	航空郵便未導入
1981	速達郵便	6銭	航空郵便未導入

この展覧会では、速達郵便の歴史を振り返る。昭和初期の速達郵便は、戦前最後の速達郵便であり、戦後の急速郵便とは異なる特徴がある。

**速達郵便史**  
1924年12月

大阪地区 二條新田区内相互郵便書状

昭和初期の速達郵便の一例。大阪地区の二條新田区内相互郵便書状。手紙の形式で書かれた郵便物で、赤い郵便印と青い郵便印が特徴的。

**速達郵便史**  
1924年12月

東京市内 同 郵便区内相互郵便書状

昭和初期の速達郵便の一例。東京市内の郵便区内相互郵便書状。手紙の形式で書かれた郵便物で、赤い郵便印と青い郵便印が特徴的。

## 大正期-1981年まで70年余の速達郵便史コレクション一括

A・B共に展覧会用にライトアップ(カラー印刷リーフ)アルバム2冊に収納した大コレクション。全5フレーム80頁構成。この間の速達基本使用例+αを全て網羅(航空含まず)、大正・昭和初期・昭和8-12年(地域限定速達時代)1フレーム、速達全国化後終戦まで2フレーム、戦後2フレームの計5フレーム構成でございます。

※AB各々の全ページの画像をご覧いただくことができるホームページを9/19より用意しますので、ご覧の上ご検討下さい。  
ホームページを見たい場合は以下の赤い文字それぞれをクリックしてください。

**[A] 価格 238,000円 (消費税別)**

**[B] 価格 238,000円 (消費税別)**

全国化前時代(料金6銭・12銭時代)7通(東京→横浜2区間書状、大阪→京都2区間書状含む)、同(料金8銭時代)8通(京阪神地区3通、東京市内便封緘葉書1通含む)、全国化以降69通(戦前31、戦後38)の計84通+他1点。初期使用例など貴重なアイテムを含みます。

### 【購入者特典】

A組・B組ともに購入者ご本人が希望される場合は、無料世界切手カタログ・スタンペディア(株)より速達郵便史の専門家をご紹介し、コレクション形成や競争展出品等について無料でアドバイスをお受けいただけます。

本ページで案内する商品の販売は10月15日(土)までにご注文の方の中から抽選とさせていただきます。  
注文先: 102-0083 海事ビル内郵便局留置 吉田敬 もしくはorder@stampedia.net までご連絡下さい

# 郵趣カレンダー

2016/9/15～2016/12/14の郵趣イベント

## 国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展

開催日	切手展名称	会場	備考
2016/10/21-26	World Stamp Championship PHILA TAIPEI 2016	台北ワールドトレードセンター (台湾、台北)	国際切手展 * 出品締切済み
2016/11/4-6	JAPEX2016	東京都立産業貿易センター台東館 (東京、浅草)	二大国内競争展 *9/20 出品締切
2016/12/2-6	CHINA2016	南寧コンベンションセンター (中国、広西チワン族自治区)	アジア国際切手展 * 出品締切済み
2017/3/30-4/2	MELBOURNE2017	コーフィールド競馬場 (オーストラリア、メルボルン)	アジア国際切手展 *10/15 出品締切
2017/7/15-17	全日本切手展 2017	すみだ産業会館 (東京、錦糸町)	二大国内競争展 * 出品要項未発表
2017/8/ 3-7	BANDUNG2017	Trans Studio Convention Center (インドネシア、バンドン)	国際切手展 * 出品要項未発表
2017/10/24-29	BRASILIA2017	Ulysses Guimarães Convention Center (ブラジル、ブラジリア)	国際切手展 * 出品要項未発表
2017/11月 (予)	DUBAI2017	未定	アジア国際切手展 * 出品要項未発表
2018/8/15-8/18	PRAGA2018	Clarion Congress Hotel Prague (チェコ、プラハ)	国際切手展 * 出品要項未発表
2018/12月 (予)	MALAYSIA2018	未定	国際切手展 * 出品要項未発表
2020/5/2-5/9	LONDON2020	Business Design Center (英国、ロンドン)	国際切手展 * 出品要項未発表

## 一般切手展

開催日	切手展名称	会場
9月30日(金)～10月2日(日)	星に向かって！宇宙切手部会展★ AERO / COSMOPEX2016・JPS 航空部会展 2016	切手の博物館
10月1日(土)～10月2日(日)	スタンプショウかごしま 2016	サンプラザ天文館
10月7日(金)～10月9日(日)	第19回千葉切手展	市川市文化会館
10月7日(金)～10月9日(日)	第13回震災切手と震災郵趣展	切手の博物館
10月12日(水)～10月15日(土)	鉄道切手部会展鉄道切手展 Railpex2016	切手の博物館
10月15日(土)～10月16日(日)	スタンプショウはかた 2016 第34回全九州ジュニア切手展	TKP カンファレンスシティ博多
10月22日(土)～10月23日(日)	音楽切手部会展 2016	切手の博物館
10月29日(土)～10月30日(日)	第4回ヨーロッパ切手展	切手の博物館
11月10日(木)～11月13日(日)	第7回世界の植物切手展	切手の博物館

※切手の博物館で開催される切手展の開催時間は特記ない限り 10:30-17:00 です。

## 国内4大フロアオークション

開催日	主催者	回	事前下見日	備考
9月18日	タカハシ・スタンプ・オークション	600		メールの部あり
10月16日	タカハシ・スタンプ・オークション	601		メールの部あり
11月5日	JPS オークション	506	10月29日	メールの部あり (11/8 正午 入札締め)
11月6日	ジャパNSTAMPオークション	94	11月5日	
11月20日	タカハシ・スタンプ・オークション	602		メールの部あり
12/3-4	ジャパNSTAMPオークション	95	11月27日	メールの部あり (11/29 午前9時 入札締め)
12月4日	スターオークション	37		大阪開催

※事前下見日および備考は、判明している物のみを掲載しています。またジャパNSTAMPの事前下見日については東京開催のみを掲載しています。

## 切手のフリーマーケット、即売会

開催日	曜日	名称	回	備考
9/24-25	土日	切手バザール	85	切手の博物館 (目白)
10月1日	土	切手市場	139	日本橋富沢町 綿商会館 9:00-17:00
11月12日	土	切手市場	140	日本橋富沢町 綿商会館 9:00-17:00
11/19-20	土日	切手バザール	86	切手の博物館 (目白)
12月3日	土	切手市場	141	日本橋富沢町 綿商会館 9:00-17:00
12/3-4	土日	大阪駅前第三ビルバザール	51	大阪駅前第三ビル 17 階 10:00-17:00

## 郵趣講演

開催日	講演タイトル	講演者	主催者
9/18	沖縄第2次通常 50 銭切手	新井紀元	関東郵趣大会 2016in 杉並
9/23	『リオデジャネイロ歴史紀行』刊行記念トークイベント	内藤陽介	えにし書房(会場:駐日ブラジル大使館)
10/1	切手収集をもっと楽しくートピカル収集の勧めー	長島裕信	中部スタンプショー 2016in 金沢
10/2	横浜フランス局 5118 印	小林彰	郵便史研究会総会
10/2	熊本郵便局にみる明治前期の郵便	立山一郎	郵便史研究会総会
10/8	切手事始め・英国領事館郵便	村岡安廣	中島水原賞受賞記念講演
2017/01/07	昭和切手の版式別の版別研究 ---- 総論	新井紀元	第2回製造面勉強会
2017/01/07	グラビア普通切手の製造面収集 (仮)	桑野博	第2回製造面勉強会
2017/01/07	手彫り切手と手彫り印紙の共通点や類似点についての勉強 (仮)	長谷川純	第2回製造面勉強会
2017/01/07	文化人切手を通じて理解する戦後初期の凹版印刷 (仮)	宮崎幸二	第2回製造面勉強会

※各講演の聴講にあたっては、会費や登録などの制限が設けられている場合がございます。条件については、それぞれの主催者にご確認ください

## いずみ切手研究会

開催日	曜日	会場 / 備考
9月18日	日	練馬区立勤労福祉会館 / 例会
10月16日	日	練馬区立勤労福祉会館 / 例会
11月20日	日	練馬区立勤労福祉会館 / 例会
12月18日	日	練馬区立勤労福祉会館 / 例会
2017/01/09	日	新年会

**郵趣カレンダーおよびピックアップイベントへの掲載方法**  
 フィラテリストマガジンでは、郵趣を活性化させるイベントを開催・運営される方を宣伝の観点からお助けします。地方郵趣会や特定サークルの切手展であっても、展示物に自信があるイベントを主催されていらっしゃる方、是非ピックアップイベントに掲載してみませんか。展示作品、フレーム数、出品者名等を明記の上、tpm@stampedia.net までご連絡ください。  
 切手展以外のイベントの宣伝もまずは電子メールでご相談ください。tpm@stampedia.net

## 切手市場

切手市場管理人 高崎 真一

フィラテリストマガジン読者の皆様いつもご来場有り難うございます。本誌に連載を書かせていただいた効果もあってここ数ヶ月間で更にご出店ご来場共に増えている状況です。

正直会場は多少手狭になってきて先を考えなくてはならない状況ではありますが、ご来場は午前中がピークで午後は空いてくる傾向ですので数時間の混雑時のために今の会場レイアウトを取り崩すのは難しいです。

また出店については既存のショップ様の増卓に対応しつつ新規の方も増えているので満席の状況がしばらく続きます。暫定的に引き受けてきました増卓も来年初めなどのタイミングでいったん整理させていただくことも考えています。

ご来場の伸び以上にテーブル数が増えても、懸案の午前午後のご来場バランスの均一化にはつながらずこちらを少々抑えて需給バランスを整えていきたいと思っております。

7月にはスタンペディア社さんの運営で第1回製造面研究会が同じ会場の綿商会館で開催され夕刻からのスタート前に切手市場にも多数お立ち寄りいただきました。有り難うございます。こうした融合イベントが誕生して下さると時間帯によっては双方ともに良い結果をもたらしてくれる場合が多く今後も同研究会様をはじめイベントが集まって下さることを祈っております。綿商会館の予約手順など私のほうで多少お役に立てることもあると思っております。お気軽にご相談下さい。



7月から3ヶ月間限定で毎月やっているチャリティオークションを熊本地震義援金付の特別イベントとして開催させていただきました。以前同様のチャリティイベントはやらせていただいたことはあるのですが、今回は切手を通じた社会貢献をテーマに手持ちの郵趣品が次なる方の手に渡り社会のためにも役立つプロセスを皆様と一緒に体験出来ればと考えてみました。金額的には小さなものですが多くの方々の御協力のもと収益金を生み寄付を行えるという実感から切手市場が社会的に存在意義のあるイベントなんだなという感想をもたせていただくことができました。

さて10月は静岡のsumi&ダミーさんがそれぞれ静岡価格のジャパン未済・外国未をテーブルいっぱいに並べて下さいます。静岡の郵趣活動に熱心なsumiさんは地元からの委託品やイベントの開催

情報をいっぱい抱えていつもアンテナショップの役割も果していらっしゃいます。

実際に切手市場で知り合って静岡のイベントに足を運ぶようななった方も多く年数回ながら10年に渡り出店を続けてこられた実績は大きなものになりつつあります。



外国訳あり未使用のダミーさんは単独出店も増やして切手市場の欠かせないメンバーになりつつあります。訳ありとは言ってもヒンジ跡はナシの未使用を今回はスコットの何掛での感じでOPPに細いペンで丁寧に値付しています。品作りがキレイで上手いそして掲示板での予告と当日のトークが絶品な代わりに準備に時間がかかり前夜に日本橋界隈のホテルで値付がギリギリまで行われているのは誰にもナイショの話です。

細いマッキーでスコットナンバーと電卓をパチパチして1円単位まで書かれているのは明らかな切手好きな証拠ですし売って利益どうかとうより何度も切手を見返して調べて更に知識深くなるのがご自身も楽しいようで掲示板の予告と当日の楽しい寅さんトークに表れています。今後ともご活躍下さい！



11月はニシノミヤさん、12月はMガレージさんが出店予定です。どうぞご期待下さい！



# スタンプショウかごしま2016

10/1～2 サンプラザ天文館 3階会議室

日本郵趣協会鹿児島支部 永吉秀夫

南九州最大の切手展として、毎年秋に開催されていますが、本年は会場が「サンプラザ天文館」(市電天文館通電停より徒歩3分)に変更となりました。

本年も一般市民向けのコレクション展示を柱として、切手収集に関する相談や切手の鑑定会を開催するほか、鹿児島東郵便局臨時出張所を開設し、切手の販売と小型印(下図)の押印を受け付けます。切手商ブースも設置されます。



## 展示予定作品(作品、出品者名、括弧内はフレーム数)

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 切手と文様        | 今井節子 (1)  |
| 切手と文様パート2    | 今井節子 (1)  |
| 皇室切手の文様と皇室文化 | 今井節子 (2)  |
| 世界の一番切手      | 谷之口勇 (2)  |
| ムーミンで郵趣!     | 岩重弘文 (1)  |
| 初期の文通週間切手    | 永吉秀夫 (1)  |
| 日本のエログラム     | 永吉秀夫 (1)  |
| 鳥とともに        | 川原啓一郎 (1) |
| その他2フレーム予定   |           |

## 切手商ブース

アオヤマスタンプ、松本敏明

## 問い合わせ先

永吉秀夫 (hmkj\_nezu49@yahoo.co.jp)



**たのしい切手の文化祭**  
**スタンプショウかごしま2016**  
 入場 無料

**日時** 10月1日(土)・2日(日)  
 10:30-17:00 9:00-15:30

**場所** サンプラザ天文館3階会議室  
 鹿児島市東千石町2-30 TEL 099(224)6639  
 (昔年と異なります)

様々な題材の切手コレクションを展示  
 企画展示「切手と文様」  
 特別展示「世界の一番切手」  
 その他、日本をはじめ世界各国の切手を展示

- 展示作品解説(随時)
- 切手相談
- 切手の鑑定
- 使用済み切手のつかみ取り
- 鹿児島東郵便局・臨時出張所
- 切手商、郵趣会ラウンジ

無料配布品もいろいろあります!

主催:公益財団法人日本郵趣協会九州・沖縄地方本部  
 日本郵趣協会鹿児島支部  
 後援:日本郵便九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC、KTS、KKB、KVT、エフエム鹿児島、鹿児島シャイエフエム

連絡先:永吉 秀夫(ながし ひでお)  
 電話:080-6445-9558 メール:hmkj\_nezu49@yahoo.co.jp  
 ホームページ:http://kaba49.my.coocan.jp

# 第19回千葉切手展

10/7~9 市川市文化会館

千葉県郵趣連合・市川郵趣会

会場：市川市文化会館 TEL：047-379-5111

会期：10月7日（金）～9日（日）

時間：10月7日（金） 12:00～17:00

10月8日（土） 10:00～17:00

10月9日（日） 10:00～16:00

臨時出張所開設、会場内での小型押印可能



市文振使用許諾 第016-001

## 特別展示

郵便印に見る市川局140年の軌跡ほか（7フレーム予定）県内フィラテリスト有志による合作

## 第1部：日本切手部門（括弧内は予定フレーム数）

下総国二重丸印 KG型 (4) / 浅木福夫 (茂原ひめはる)

下総国 葛飾郡の二重丸印 (2) / 飯塚悟朗 (柏)

大型ボタ印にみる年賀状 (1) / 房村秀徳 (柏)

小判青1銭はがき印刷局銘の使用例 (1) / 斎藤 環 (メイト会員)

菊切手時代の下総国丸一印 (4) / 渡辺博行 (メイト会員)

日本の手押標語印 (2) / 矢嶋基之 (市川)

樺太庁発行の記念絵葉書 (3) / 原田昌幸 (メイト会員)

旧日本統治地の郵便 (3) / 鈴木光男 (市川)

太平洋戦争 外国郵便と外地との郵便1941-1948 (3) / 加瀬嘉文 (メイト会員)

30銭五重塔 (4) / 廣嶋宏治 (佐倉)

千葉県の図入り年賀印 (2) / 橋浦芳朗 (千葉)

67年シリーズ初期改色改版切手 (2) / 宮崎幸二 (佐倉)

鶴岡局の郵便印 1872-1945(戦前編) (5) / 冨樫敏郎 (市川)

第三種郵便 (1) / 畑山俊一 (茂原ひめはる)

著名人の年賀状 (1) / 房村秀徳 (柏)

つながる切手 (1) / 柳原 正 (成田)

日本の童謡・唱歌 (2) / 伊藤俊治 (千葉)

切手の花屋さん (3) / 橋本礼男 (佐倉)

日本の城 (1) / 林 果林 (千葉)

競馬の移り変わり (5) / 中村雅喜 (千葉)

日本の山 (1) / 相川徳雄 (君津)

南極地域観測 (5) / 檜垣廣政 (習志野)

マイ郵便局 原局 (1) / 原 信次郎 (市川)

東北大震災被災県の366日 (2) / 野村伸弥 (市川)

私の郷里「滋賀と千葉」 (2) / 中尾英雄 (市川)

ふるさと切手 - 民営化以前 (4) / 河村正明 (成田)

## 第2部：外国切手部門

旧ソ連・ロシアの記念切手 (3) / 大見國敏 (佐倉)

中国の郵政開発附加費証紙 (2) / 大塚 章 (茂原ひめはる)

オーストリアの切手 (2) / 高階吉生 (成田)

中国からの郵趣の手紙 (5) / 永原 昇 (千葉)

スウェーデンの切手 (2) / 斎藤 純 (千葉)

世界のバラ (2) / 宝田嘉久男 (市川)

世界のキノコ (茸) (3) / 村井勝彦 (習志野)

アジアの鳥 (3) / 間中通康 (柏)

# MELBOURNE2017 作品募集

申込期限：2016/10/15

MELBOURNE2017 日本コミッショナー 長島 裕信



メルボルン市中心部遠景（実行委員会ホームページより）

MELBOURNE2017 は、2017 年 3 月 30 日から 2017 年 4 月 2 日までオーストラリアのメルボルンで開催されるアジア国際切手展です。この開催でアジア国際切手展は第 34 回目となります。

会場：Caulfield Racecourse, Caulfield, Melbourne, Australia

期間：2017 年 3 月 30 日から 2017 年 4 月 2 日まで（合計 4 日間）

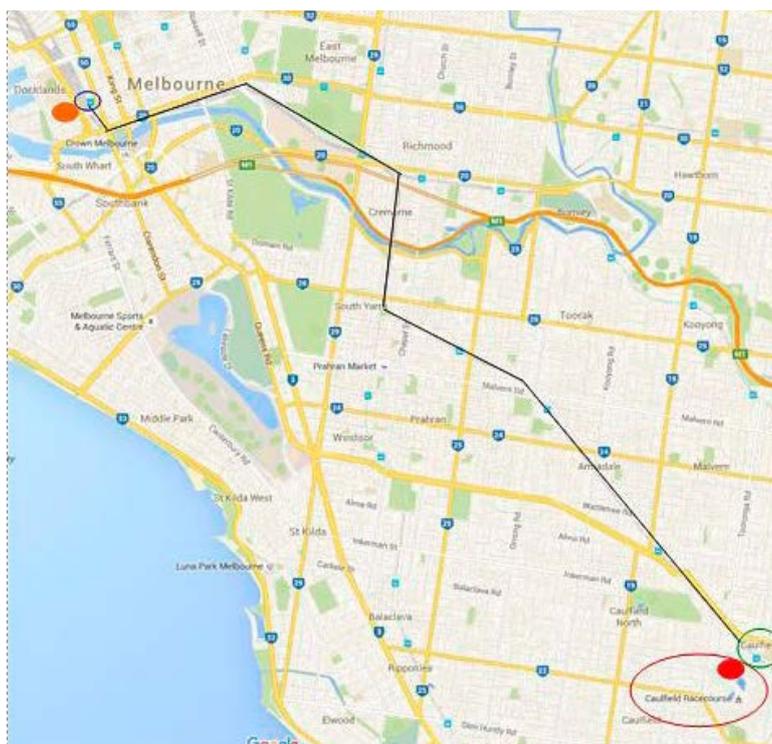
同切手展の特別規則 (IREX) が明らかになりましたので、フィラテリストマガジン第 12 号の付録に日本語による内容抜粋を再録し、出品作品を募集します。なお、出品を申し込む方は、必ず原文の特別規則 (IREX) にも目を通してください。

## < コミッショナー連絡先 >

長島 裕信 (ながしま ひろのぶ)

E-mail: nagashima.hironobu@nifty.com

住所：〒411-0044 三島市徳倉 734-28



オフィシャルホテル（左上のオレンジの楕円）と会場（右下の赤の楕円）の間には、鉄道が通っています。（トロリー？）

# PHILA TAIPEI 2017

開催期間：2016/10/21-26

会場：World Stamp Championship PHILA TAIPEI 2016

公式 HP：<http://taipei2016.post.gov.tw/post/taipei2016/en/Default.jsp>

日本からは文献部門を除いて、23 作品 154 フレームが出品されます。

近年の国際展では NY2016 の 162 フレームに次ぐ規模です。

ワールドチャンピオンシップ展で、海外からの素晴らしい出品が多数あります。隣国ですので、HP で一覧をご覧の上、是非ご参観ください。



10/21-26

## 同切手展に日本から出品される作品の一覧

出品部門	展示フレーム番号	作品	F	出品者
チャンピオン	10017-10024	Japanese Post and Foreign Postal Activities in Korea 1876-1909	8	Inoue Kazuyuki
伝統 (AOA)	22061-22065	Japan Showa Issue 1937-1947	5	Wada Teruhiro
伝統 (AOA)	22066-22070	Ryukyus Air Mail Stamps 1950-60	5	Ishizawa Tsukasa
伝統 (AOA)	22071-22075	Japan Chrysanthemum Series 1899-1910	5	Murayama Kousuke
伝統 (AOA)	22076-22083	Chrysanthemum Issue of Japan	8	Hatanaka Tamidou
伝統 (AOA)	22084-22091	Siam Classic	8	Iwasaki Zenta
伝統 (AOA)	22092-22099	Japan Old Koban Series 1876-1879	8	Kouno Ryoichi
伝統 (AOA)	22100-22107	Hand Engraved Stamps of Japan (1871-1876)	8	Ota Katsumi
伝統 (アメリカ)	24067-24071	Nova Scotia Pence & Cents Issues 1851 - 1867	5	Tada Yuichi
伝統 (アメリカ)	24072-24079	Hawaii	8	Yamazaki Fumio
郵便史 (中国)	31001-31008	The Opening of China 1745-1897	8	Ohba Mitsuhiro
郵便史 (AOA)	32071-32075	A Franco-Japanese Postal History 1860-1899, from opening ports to treaty revision	5	Kobayashi Akira
郵便史 (AOA)	32076-32083	The Japanese Couriers 1601-1873	8	Yamazaki Yoshiyuki
郵便史 (AOA)	32084-32091	Prompt Delivery in Japan as Nationwide Services	8	Ikeda Kenzaburo
郵便史 (AOA)	32092-32096	Postal History of the Japanese Military Mail 1928-1945	5	Tamaki Jun-ichi
郵便史 (AOA)	32097-32101	Japanese Military Post from Sino-Japanese War to Russo- Japanese War	5	Shimizu Masaaki
郵便史 (AOA)	32102-32106	The US Forces and Postal Censorship by General Headquarters in Japan	5	Ando Gensei
郵便史 (ヨーロッパ)	33110-33117	German Inflation 1922-1923	8	Ito Fumihisa
ステーショナリー	40050-40054	Stamped Envelopes of Japan 1873-1908	5	Sugihara Masaki
ステーショナリー	40055-40062	Postal Cards of China 1897-1912	8	Fukui Kazuo
テーマティック (テクノロジー)	63068-63075	A History of the Telephone - Telegraph to Digitalization	8	Katsui Akinori
印紙	70061-70068	The Hand Etched Documentary Revenue Stamps of Japan 1873-1874	8	Hasegawa Stephen Jun
文献 (単行本)		International Exhibition History 1965-2004		Shoda Yukihiro
文献 (単行本)		Hiroyuki Kanai "Classic Japan 1871-1876"		The Philatelic Culture Museum
文献 (単行本)		The Japanese Rail Road Cancellations		Narumi Co
文献 (単行本)		Courier in Japan		Yamazaki Yoshiyuki
文献 (カタログ)		Encyclopedia The Japanese Showa Stamps		Narumi Co
文献 (カタログ)		Visual Japanese Stamp Catalog Vol 1, Vol 2, Vol 3, Vol 4		Japan Philatelic Society, Foundation
文献 (カタログ)		New Year's Mails and History of the Greeting Stamps		Japan Philatelic Society, Foundation
文献 (カタログ)		Japanese Revenue Stamp Catalogue		Narumi Co
モダンフィラテリー	11031-11035	Japan Definitives: 1980 - 1988	5	Sudani Nobuhiro

## 第4回ヨーロッパ切手展

アルプス・ヨーロッパ切手部会

ヨーロッパ切手展は、2013年より毎年一回開催されている非競争の切手展です。毎回テーマを一つ決め、展示者を募集する形で運営しており、過去に「黒海」「スイス」「バルト三国」を取り上げました。

第4回となる本年は、会員の中に熱烈な収集家が多く、以前から開催テーマにすることが期待されていた「フランス」をテーマにしたコレクション約40フレームを展示いたします。

主催者：公益財団法人日本郵趣協会 アルプス・ヨーロッパ切手部会

後援：在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、公益財団法人日仏会館

協賛：Cartor Security Printing、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

日程：2016/10/29-30(土日)

場所：切手の博物館(目白)

### 展示内容

レギュラー部門：フランスに関連する切手コレクション

ワンリーフ部門：アルプス・ヨーロッパ切手部会員によるワンリーフ展

文献部門：フランス切手の収集に関する文献



### レギュラー部門展示予定作品(作品、出品者名、括弧内はフレーム数)

Ceres in the Nineteenth Century	吉田 敬 (2)
Napoleon non laure France 1852-1862	有吉 伸人 (5) *全日展 2016 グランプリ
ポケットで作る 20 世紀フランス通常切手コレクション	菊地 恵実 (1)
パストゥール・タイプ	榎本 一彦 (5) *JAPEX05 グランプリ
ドイツ/フランス占領地区の切手	木戸 祐介 (3)
お気に入りのフランス凹版切手	甲斐 正三 (1)
在中国フランス郵便局	有吉 伸人 (1)
カンボジア	長野 行洋 (1)
フランスのプレスタンプカバー	竹上 幸浩 (1)
フランス・クラシックの日付印	有吉 伸人 (2)
日仏郵便史	小林 彰 (5) *TAIPEI2016 出品予定作品
フランス客船 東洋航路の八角形船内印	鈴木 光男 (1)
アニメ「ベルサイユのばら」	内田 雄二 (2)
カルトゥール製造の切手	カルトゥール (1)
日本・ベルギー 150 周年記念切手 分色シート	カルトゥール (1)

\*展示は予定であり、追加・変更の可能性がございます。

## 併設イベント「Marche de Timbre」のご案内

公益財団法人日本郵趣協会 アルプス・ヨーロッパ切手部会 会員が切手の重品を持ち寄り、会場にて「パリの切手市」を再現いたします。フランス切手を中心とする郵趣マテリアルを購入できるほか、パリの切手市を描いた映画「シャレード」を会場で上映いたします。

また、協賛企業である、Cartor Security Printing 様が、この切手市への出店を決定。昨年シンガポールで開催された国際切手展 Singapore2015 の会場で来場者に配布した、シール式 P-stamp を、東京で初めて配布いたします。(写真下はサンプルです。無料。一人一部)「シール式 P-stamp」とは、カメラで撮影した人物の写真などをその場で刷り込んで印刷した切手状のシールのことです。同社は当該技術を用いて、世界中の郵政にオリジナル切手の製造装置を提供しており、今回のシールは公式に使用されるのと全く同一の機会を用いて製造される貴重な郵趣周辺マテリアルです。

(発行部数：1000部。シートサイズ：148.5 \* 210.0 mm、切手状の6片の周囲に目打穿孔あり。両日共先着 500 名さまに無料で提供いたします。)

本展覧会に協賛しているスタンペディアは、10月中旬に、同展覧会の参観ガイドをフィラテリストマガジンの号外として発行する予定です。どうぞご都合を合わせてご参観ください。



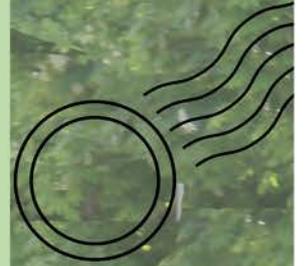
第4回ヨーロッパ切手展

テーマ「フランス」

2016.10.29-30

切手の博物館（目白）

アルプス・ヨーロッパ切手の会



4ème exposition philatélique européenne  
samedi & dimanche, Octobre 29-30, 2016

特報

毎日先着500名様に  
カルトウール社製「シール式 P-stamp」  
を無料配布

展示予定作品（抜粋）

日仏郵便史（8） 小林彰 \*TAIPEI2016 出品予定作品  
パストゥール・タイプ（5） 榎本一彦 \*Japex05 グランプリ  
Napoleon non lauré France 1852-1862（5） 有吉伸人  
ドイツ／フランス占領地区の切手（3） 木戸祐介  
フランス客船 東洋航路の八角形船内印（1） 鈴木光男  
アニメ「ベルサイユのばら」（3） 内田雄二  
カンボジア（1） 長野行洋

CARTOR

# 第7回世界の植物切手展

JPS 植物切手部会世話人 羽賀 正雄

開催期間：11月10日(木)～13日(日)、10:30～17:00

会場：切手の博物館F3 (目白)

本年、第7回を迎えた「世界の植物切手展」を植物切手部会主催で開催します。JAPEX直後の会期です。植物関連のトピカルやテーマチック主体の切手展となりますが、伝統やゼネラルの方々にも楽しめるようアーカイブやバラエティ、使用例などを盛り込んだ作品も展示されます。

全国切手展上位入賞作品にさらに磨きをかけたものもあり、守備範囲の広い方には十分楽しめます。また、植物は一般になじみやすく関心を持たれる方も多いと思いますので、フィラテリストのみならず一般の方々もお誘いの上ご観覧ください。



ゴクラクチョウカ proof

小型印：10日(木/初日)、12日(土)の2日間使用予定(デザインは「郵趣」11月号に掲載)

豊島区臨時出張所開設時間 10:30～17:00 (12:00～13:00は昼休み)

記念カバー販売予定他、展示作品解説、植物切手文献案内や収集相談等

## 主要展示内容 (予定、括弧内はフレーム数)

日本切手カタログー花切手編	奥田 重俊 (4)	果物が持つ驚異の健康効果	宝田 嘉久雄 (2)
ショウガ亜綱	石田 徹 (4)	果物の樹	三宅 秀雄 (2)
ツツジとシャクナゲ	奥田 重俊 (1)	世界で愛される薬用植物	谷 覺 (1)
バラ科の植物	山田 精一 (1)	蝶の幼虫の食餌植物	澤口 尚子 (2)
バラの世界	山田 精一 (2)	ウエットランドの自然	奥田 重俊 (3)
ロイヤルメール (チューダーローズ)	山田 精一 (1)	バオバブ/サバナの巨人探訪	羽賀 正雄 (1)
奇木バオバブを知る	羽賀 正雄 (1)	シエクスピアの花	小林 和子 (1)
ツンベリーと仲間たち	大畑 紀子 (3)	マツ林に生育するキノコ	山田 昌弘 (1)
アンドレ・ブザンの描く花	今井 郁 (1)	レアなキノコ切手	石川 博之 (1)
植物切手でみるチェコスロヴァキア	市川 敏之 (1)	MC デザインの魅力	羽賀 正雄 (1)
花卉園芸：ヨーロッパから世界へ	嘉ノ海 暁子 (5)		

## 第2回製造面勉強会

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

当社の主催により、2016年7月2日(土)に開催した「第1回製造面勉強会」は、64名の参加者(スタッフ・講師を含む)を迎え、大変な盛会となりました。アンケートを取ったところ、参加者の評判も良く、同勉強会を「日本のフィラテリーの製造面の研究発展」の為に継続して開催することにいたしました。

「第2回製造面勉強会」については、当初は本年10月の開催を検討しておりましたが、アンケートにおけるご要望をもとに、(1)講演の本数と時間をそれぞれ倍増させ、(2)一日イベントに進化させるため、十分な準備時間を取り来年正月明けに開催することにいたしました。

会合名：第2回製造面勉強会

日時：2017.1.7(土) 10:00AM-18:00PM (開場 09:30AM)

会場：綿商会館(東京都中央区日本橋富沢町8-10 TEL 03-3662-2251)

会費：4,000円(昼食の弁当付き)

申込：スタンペディア(yoshida@kitte.com)もしくはエーエージェントスタンプ(03-3995-4317)

### 講演内容・講師(50音順)

「昭和切手の版式別の版別研究 --- 総論」新井紀元氏

「グラビア普通切手の製造面収集(仮)」桑野博氏

「手彫り切手と手彫り印紙の共通点や類似点についての勉強(仮)」長谷川純氏

「文化人切手を通じて理解する戦後初期の凹版印刷(仮)」宮崎幸二氏

\*講師及び講演内容は変更の可能性がございます。

\*一講演は90分で、講演および質疑応答で構成されます。

\*講演の間には30分の休憩時間を設けます。(ランチ休憩のみ60分とします)

\*休憩時間のみ、切手商ブース(エーエージェントスタンプ等)が開設されます。

\*本勉強会は、参加にあたり事前申込が必要です。



講演後の質疑応答風景



休憩時には、製造面即売会も行われました



空席が見当たらない程の盛況ぶり

<広告>

日時:

2017.1.7 (土) 10:00AM-18:00PM (開場 09:30AM)

会場: 綿商会館 (東京都中央区日本橋富沢町 8-10 Tel. 03-3662-2251)

会費: 4,000 円 (昼食の弁当付き)

# 第

# 二

# 回

# 製造面

# 勉強会

講演内容・講師 (50 音順)

「昭和切手の版式別の版別研究 ---- 総論」 新井紀元氏

「グラビア普通切手の製造面収集 (仮)」 桑野博氏

「手彫り切手と手彫り印紙の共通点や類似点についての勉強 (仮)」 長谷川純氏

「文化人切手を通じて理解する戦後初期の凹版印刷 (仮)」 宮崎幸二氏

- \* 講師及び講演内容は変更の可能性がございます。
- \* 一講演は 90 分で、講演および質疑応答で構成されます。
- \* 講演の間には 30 分の休憩時間を設けます。(ランチ休憩のみ 60 分とします)
- \* 休憩時間のみ、切手商ブース (エージェンスタンプ等) が開設される他、同日、同会館 4 階では切手のフリマ「切手市場」が開催されています。
- \* 本勉強会は、参加にあたり事前申込が必要です。(スタンペディア郵趣文献ショップでお申込みいただけます。)
- \* 勉強会終了後に新年会を開催いたします。



# 一月七日

## 「地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の紹介」の開始について

日本で発行されているフィラテリー雑誌の内、200部以上の発行実績が確認されるものを、現時点で判明した発行部数で区分すると以下の表のようになります。

10,000部超	フィラメイト、スタンプマガジン、stamp club
5,000-10,000部	郵趣
1,000-5,000部	郵趣ウィークリー、ジャパNSTAMPオークション、スタンペディアフィラテリックジャーナル
200-1,000部	郵趣研究、フィラテリストマガジン、たんぶるぼすと、JPSオークション、スターオークション、IZUMI

\* 本表は当該発行部数の雑誌を網羅したものではありません。発行部数の情報を継続して求めております。

\* 発行実績は、紙による購読が可能であることを条件とした上で、PDF配信のみの購読者数を加えています。

一方で発行部数が十数部から200部未満の地域等切手サークル発行の雑誌は、まだまだ日本でたくさん発行されており、その正確な発行実績や内容の把握は郵趣界全体として行われておりません。これらの雑誌の中には、上記に示した発行部数200部以上の雑誌で報じられない貴重な寄稿記事があるものが少なくありません。啓発記事であればまだしも、独自研究や新発見などがあった場合に、その報告が郵趣界全体として共有されないのは、日本のフィラテリーの損失だと感じています。

この思いをもとにフィラテリストマガジンでは、昨年、東京都練馬区で毎月会合を行いながら素晴らしいフィラテリーの雑誌を刊行する「いずみ切手研究会」の会報「IZUMI」のPDF配信を開始いたしました。同雑誌の昨年までの購読者数は約100名でしたが、この一年間でPDF配信と紙で購読する会員が100名増加すると共に、独自記事満載の会報「IZUMI」がより多くの方の目に触れるようになりました。

将来的には更に多くのPDF配信のお手伝いができればと考えておりますが、それ以外にも現時点でできることを考え、当方が購読もしくは献本された地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の内、是非広く皆様に知っていただきたい媒体を毎号一冊紹介したいと考えるに至りました。

コーナーとしては、創刊号以来、巻末で連載してきた郵趣文献記事と類似しますが、対象をより限定した新たに連載記事として始めることにいたしましたので、どうぞご期待ください。

第1回は先月、第200号を発行した「市川郵趣」(市川郵趣会・会報)をご紹介します。(次ページ)

## 地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の紹介 第1回

# 市川郵趣会・会報「市川郵趣」

毎年精力的な切手展を主催している千葉県郵趣連合に加盟し、その活動を支えている市川郵趣会のフィラテリストは、12名と決して多くありません。しかし特筆すべきはその全員参加の精神です。毎月の例会は原則としてほぼ全員参加。記念誌である「市川郵趣」第200号にも例会に参加している全員が記事を執筆しています。

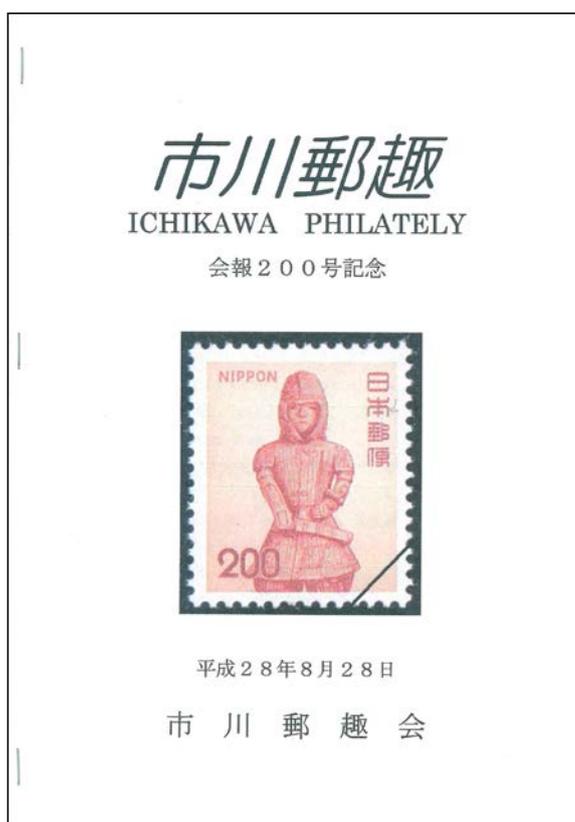
「全員執筆」というのは文字にすれば容易いかもかもしれませんが実現は難しいと思います。会長にリーダーシップがあるだけではダメで、優秀な会報担当者の存在が必要不可欠でしょう。その両方を兼ね備えた市川郵趣会の会報200号は注目すべき内容が複数含まれていますで一覧と共にご紹介します。

Washington2006等にWestern Australiaを出品していた根岸氏の記事は初めて読みました。松戸郵趣会の会長でもある鈴木光男氏の記事では田辺卓弥拓躬氏との出会いの話が興味深いです。中村雅喜氏の印字切手エラーの寄稿内容は、同切手の製造面の貴重な資料であり、当該分野の収集家にとっては必見の内容です。

中尾英雄氏の寄稿からは、郵趣振興を当社が行うにあたり、ヒントとなるアイデアをいくつもいただきました。紙幅の関係で全ては紹介できませんが、ご紹介させていただきました。

当地に持ち込まれた、紅枠一銭葉書の使用例	吉田 敬
ブラックスワンと旅した日々	根岸 昭二
郵趣の迷路に泣き笑い	鈴木 光男
トピカル収集の醍醐味	印南 博之
市川郵趣会 素晴らしい先輩に恵まれ幸せです	野村 伸弥
いま、蒐集で思うこと	中尾 英雄
切手との出会いによる嬉しい思い出	宝田 嘉久男
切手と消印ー思い出とこれからー	矢嶋 基之
私の切手事始め	原 信次朗
入手したエラー印字切手	中村 雅喜
標語印「ぜひ / 標札を / 掲げませう」	山田 克興

雑誌名	市川郵趣(市川郵趣会・会報)
発行	市川郵趣会(会長 富樫 敏郎, 1998年設立)
会報担当	宝田 喜久雄
創刊	1998.8.23
会員数	12名
発行部数	60部(通常号は35部)
発行間隔	月刊(原則として毎月第4日曜日)
体裁	B5判(182*257mm)
印刷	カラーコピー
製本	ホチキス止め
購読方法	原則として例会に参加できる会員のみが購読できる(年会費:1,500円)
例会開催日	催事ない限り、毎月第4日曜日



# 私の発見・私の報告

## レターパックの新種発見

報告者：木戸 裕介

現在郵便局で販売されている、レターパックプラスおよびレターパックライトについて「ご依頼主様保管用シール」のフォントが本年5、6月より変更され、細くなっている事を発見しました。



変更箇所は、左側の「はがす」の文字および上部のフリーダイヤルから始まる二行で、これまで発行されてきたものに比べて細いフォントで印刷されたものが、本年5、6月ごろより販売されています。



小さな違いですが、毎日仕事で使っている身からすると、すぐに「あれっ」と、気になるほどの違いです。



また、レターパックプラス（赤）の新種については、追跡番号の数字の印字フォントがより明白に異なっています。



同様の違いをレターパックライト（青）で調べたところ、追跡番号の上4桁「3268」において、同様のフォントで印刷された物を発見しましたが、「はがす」等のフォントが新しい細いものとは必ずしも一致しないようで、今後の調査がさらに必要です。



商品名	色	太いフォントを確認できる追跡番号の上4桁	細いフォントを確認できる追跡番号の上4桁
レターパックライト	青	3264 まで	3265 以降 (2016.5.19)
レターパックプラス	赤	2276 まで	2278 以降 (2016.6.18)

\*カッコ内の数字は確認できる最初期です。

本記事を補筆するデータや解釈を募集します。木戸さんもしくは編集部までご連絡ください。

## 私の発見・私の報告

### 新潟中央のローラー印「ほくろ新潟」について

報告者：伊藤 和彦

和文ローラー印は、局名文字に大小などの変化があり、同じ局でも違いがあるように感じられます。そこで抜き取り調査を実施したところ、新潟中央郵便局のローラー印について、「新潟・中央」と点（ドット）が入るサンプルを発見いたしました。

特定郵便局で使用する和文ローラー印では、都道府県名と郵便局名の間に点（ドット）を入れる事が普通に行われていますが、新潟中央郵便局の局名はあくまで「新潟中央」であり、都道府県名の後に点（ドット）が入るのは正しくありません。そこで当初は単なる消印の汚れと考えましたが、複数のサンプルを発見しましたので、新種として捉える事にしました。

現在、平成2年の縦線入り旧ローラー印、同4年・5年の斜線入り新ローラー印を確認済みです。この消印はいつからいつ頃まで使用されたのでしょうか。郵政民営化で分社したり統合したりで局名表示もかわりましたが、現在の新潟中央では窓口部局は従来からの字体、集配部局は新字体のローラー印を使用しています。



本記事を補筆するデータを（特に新潟県のフィラテリストの皆様から）募集します。伊藤さんもしくは編集部までご連絡ください。

## 私の発見・私の報告

### インクジェット式機械印の新仙台・東京北部局における使用開始

報告者：鈴木 盛雄、藤田俊則（編集部取りまとめ）

本誌第 10 号で、大嶋篤二氏、小坂彰宏氏が、四日市西局におけるインクジェット式機械印の使用開始を報告した事を契機に、同第 11 号にて鈴木盛雄氏が、その後の調査並びに、同式の機械印が配備された大阪北局と博多北局の使用開始について報告しました。

ところが、7 月以降、東京北部郵便局と新仙台郵便局でインクジェット式機械印が使用開始された事がわかりました。同機械印は試験段階を経て、拡大本配備がいよいよ始まったと言えると思いますので、鈴木さん、藤田さんによる速報を、今後の見通しも含めて編集部で取りまとめました。

#### 東京北部郵便局

2015.5.4 開業。

東京都内中部のゆうパック仕分け拠点として同日開業。局名に「東京」と付くが所在地は、埼玉県和光市新倉 5-2-5 (〒172-8799) である。建設中は「新西東京郵便局」という仮称がつけられていた。同局は、一般客向けの窓口業務を行わない郵便局である。

2016.7.25 (時間帯 12-18) より東京都の三鷹、調布、武蔵野、狛江郵便局管内の郵便物の集配を始めた。(図 1) これに先立つ 7 月 22 日に試験運用が開始されたと言われているが、現物は確認されていない。

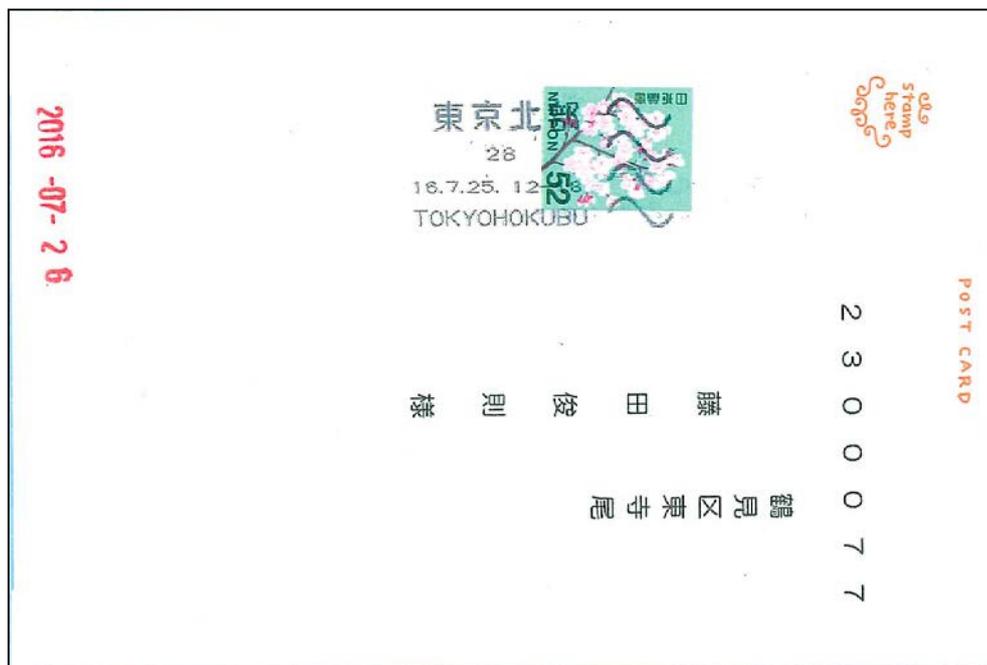


図 1 (藤田俊則氏 收藏品)

# 大名刺交換会 2017 開催決定！今からご準備ください！

## 謹賀新年

A Happy New York 2016

雨利加 太郎

今年2016年は、米国ニューヨークで国際切手展 World Stamp Show New York 2016が開催される年です。私、雨利加 太郎は、永年集めて参り、一昨年の国内競争展で金賞をいただいた、マルコフィリーコレクション「Wavy Lines Obliteration of Japan」5フレームを初めて国際展で展示いたします。

競争展ルールを勉強して、少しでも良いポイントを取れるよう頑張りたいと思いますが、それ以上に国内外の友人や現地で仲良くなる人々とお会いするのが楽しみです。どうぞよろしく願います。また同様にNY2016にご出品される皆さん、共に頑張りましょう！



Only Known Block of Four of 1966 20 Yen, with Wavy Lines Obliteration. World Rarity!

### 新年の抱負タイプ

新年明けましておめでとうございます。私は、初目手 太夫と申す、39歳のフィラテリストです。小・中学生の頃に熱心に切手を集めていましたが、大学生・社会人になるに連れて、切手とは疎遠な生活になってしまい、20年近く経過してしまいました。しかし今年の夏にふとしたことから切手収集を再開し、今は失われた時を埋めるべく、切手収集に勤しむ毎日です。

フィラテリストマガジン新年号外では、このような自己紹介も歓迎との吉田さんの言葉を受けて、本日は貴重な紙面を通して、自己紹介させていただくと共に、本年の私の抱負を書きたいと思っております。

氏名：初目手 太夫 (ハジメテ ダヨウ)  
生年月日：昭和51年12月5日  
あだ名：暫定君  
職業：警察官 (国家公務員)  
収集範囲：スペイン一番シリーズ (1850年)  
所属：アルプス・ヨーロッパ切手の会

昨年は20年ぶりに切手を楽しむことができた記念すべき年となりました。最初は小・中学生の頃集めていた新動物国産切手のカラーマークを大人買いしていましたが、昔とても手が出なかった、欧米のどこかのクラシック切手を集めたいと思い、JAPEXでアルプス・ヨーロッパ切手の会に入会し、会員の皆さんに相談した結果、スペインの一番シリーズに関心を持ちましたので、現在はその入手や勉強をしています。大変楽しませていただいております。



### 自己紹介タイプ

## あけましておめでとござります！

2016年 元旦 飯物 買太郎

旧年中は大変お世話になりました。恒例となりました、昨年入手マテリアル BEST3 をお届けします！

**第3位 英領モーリシャス 1、2番切手 混貼りカバー**

昔から欲しかったんですよねー。やっど買えました。

**第2位 改色桜切手6銭ヨ 使用済み**

昔から欲しかったんですよねー。やっど買えました。

**第1位 広告付き葉書 第1次宮城県版初日印**

昔から欲しかったんですよねー。やっど買えました。



今年も皆さんの初夢が叶いますように！

### 旧年中の入手品の披露タイプ

意外と少ない？

脇付き葉書の年賀使用例

御目出度多 次郎です。

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いたします。さて、お正月ということで、それにふさわしいマテリアルを。

二つ折りはがきの年賀状は、今やあまり珍しいものではなくなくなりました。紅梓はがきですら、かなりの枚数が見つかるのではないかと思います。そんな中、もっとも珍しいのは、脇付きはがきの使用例ではないかと思います。

桑名から三河に当てられた市外便ですが、文面には「新年」の文字が読み取れます。

私は二点しか確認できていないのですが、お持ちの方いらっしゃいましたらぜひ編集部までご一報ください。



### 年賀にからめたコラムタイプ

## 謎解き郵趣

### 答え合わせ

輸出用に、脇付き葉書の様に偽加刷が施された、脇なしハガキ

出題者：古畑 健三郎

### 出題

南方占領地フィリピンのカバー

出題者：鍋木 顕

「謎解き郵趣」は読者参加型の郵趣解説記事です。

回答への参加：出題された郵趣マテリアルについて、マイ・スタンペディアからリンクされるアンケートにてご回答ください。次号で出題者の模範解答と共に一つずつ詳しく読み解いて参ります。

出題者募集中：次号で掲載予定の郵趣マテリアルを募集中です。一筋縄ではいかない皆さんのひと味変わった郵趣マテリアルの画像を [tpm@stampedia.net](mailto:tpm@stampedia.net) までお送りください。

## 寄稿記事・郵趣論文

世界のクラシック切手第9回

英領ケープ植民地 (Cape of Good Hope) 切手について (下)

池田 健三郎

世界のセミクラシック切手第1回

ラトビアの地図切手

石田 徹

クリミアにおける郵便事情

著作：ゲナディー・ベルマン、ドミトリー・チズマコフ

監修：荒木寛隆、伊藤文久

日本のコイル切手

～昭和コイル切手を中心に～

伊藤 純英

和欧文機械印トピックス (第10回)

水谷 行秀

農地委員会委員選挙郵便

行徳 国宏

切手別納郵便制度への追記

行徳 国宏

## 世界のクラシック切手第9回

# 英領ケープ植民地 (Cape of Good Hope) 切手について (下)

池田 健三郎

(本誌第9号より続く)

### 8. 四角切手の登場

無目打・凹版印刷の豪華な三角切手から、目打付・凸版印刷の四角切手への切り替えは1864年1月(四角切手の1番は、1 シリング緑 <SG26>)以降、徐々に進められました。これ以後は当然のことながら、無目打切手や三角切手が発行されることはなく、四角切手の発行が継続することとなります。

これらの四角切手は豪華な三角切手と比較すれば確かに見劣りのする出来映えであることは否定できませんし、市場価格も相対的には三角切手よりもかなり安価です。しかしながら、その収集上の魅力は三角切手に比肩すると筆者は考えています。

### 9. 四角切手のあらし

先述の三角切手と同様、喜望峰切手の基本分類について、世界のスタンダードはスタンレー・ギボンズ(以下、SGと略記)のカタログということになります。

それでも三角切手に比べると、分類が簡略化されたスコットカタログを用いている切手商も皆無ではありませんが、近年では四角切手の人気も高まっていることから、相対的にカタログ・バリューが低いスコットでは、ビジネス上の難点があるという事情もあって、世界中のオークションは勿論、切手商もその多くがSGの分類を採用しています。

SGのカタログをみますと、喜望峰の四角切手は、シェード等のバラエティをカウントしないメイン・ナンバーでSG23-78の全56種ということになります(ボア戦争絡みのマフェキングおよびフライバーグにおける臨時切手を除く)。

よって、以下ではその内容を時系列的に説明していきます。

初めに大雑把なところを申し上げておけば、この56種を完集することは、未使用やバラエティ等に拘らない限り、まったく難しいことではありません。ただ、同一図案や似たような切手が多く、分類・整理が面倒なこともあって、完集したコレクションをみることは滅多にありません。三角切手は熱心に収集する方でも、四角になるとブランク・リーフにまばらに切手が貼ってあるだけというケースも少なくないように思われます。

# 世界のセミクラシック切手第1回 ラトビアの地図切手

石田 徹

第一次世界大戦後に独立したバルト三国の一つラトビアの切手は特別な人気があり、かつては、その珍しさゆえに切手の本や雑誌など入門書レベルのものにもよく記載があったものだが、最近はこのらの記事を見かける事が少なくなり、その分だけ初心者にとっては郵趣の楽しみ方が狭くなり、現在の足元だけを見ているような情報提供が多くなっているため、その概略だけでも記述しておきたい。

この切手を世界的に有名たらしめるもの、それは地図の裏に切手が印刷されていることである。第一次大戦後、ヨーロッパ各国は物資の欠乏に苦しめられ、中でも東欧では紙が不足し、ラトビアはその最たるものであったので、当然切手を印刷する紙も無かった。

そこで、大戦終了時にドイツ占領軍が残していった軍用地図の裏面に切手を印刷する事となった。地図

図には多くの種類があり、切手印刷面に対して地図は上下逆向きになったものもある。裏糊の付いているものと糊なしのものがあり、糊の色にも無色のものと褐色のものがある。目打については厚手の地図に穿孔している内に目打機が壊れてしまい無目打での発行となってしまったものもある。



目打有ブロックの表裏、褐色の糊つき。



無目打のブロックの表裏、地図に対して上下逆に印刷、糊なし。

# クリミアにおける郵便事情

著作：ゲナディー・ベルマン、ドミトリー・チズマコフ

監修：荒木寛隆、伊藤文久

2014年2月以降、ウクライナのクリミア半島は、ロシア連邦の実効支配を受けています。報道されている事実ですので、皆さんご存知のことと思いますが、では、現地の郵便システムはどう変わったか？については、なかなか国内ではわかりません。今回、クリミア危機後の郵便事情について、執筆された論文を荒木寛隆さん、伊藤文久さん監修の下、翻訳いたしましたので、ご覧ください。（編集部）

## 政治的背景

クリミア半島の住民のほとんどはロシア系で、ウクライナ人、クリミア・タタール人は少数派です。危機の前まで、同地はクリミア自治共和国（Ukraine's Autonomous Republic of Crimea; ARC）とセヴァストポリ特別市で構成されていました。



図1 セヴァストポリ郵便局 出典：Wikimapia.org

危機は、ウクライナ革命の余波を受けて発生しました。2014年2月21日、ヴィクトル・ヤヌコヴィチ大統領がキエフから逃亡しました。翌日、ウクライナ議会は大統領を解任し、直ちに暫定的な大統領を任命して暫定政権を発足させました。

2月23日、親ロシア勢力が徐々にクリミア半島を掌握しはじめました。武装集団がクリミア議会庁舎を占拠する一方で、議会はクリミア政府を解散して首相を交代すること、及びクリミアの自治を問う住民投票を行うことを決議しました。

3月16日、住民投票でロシアへの編入の是非が問われました。公式発表では投票率83%となっていますが、結果として、有効投票率はクリミアで96.77%、セヴァストポリ特別市で95.6%でした。



図2 シンフェロポリ郵便局 出典：Poitwiki.org

3月17日、クリミア議会はウクライナからの独立を宣言し、ロシア連邦への編入を要請しました。

3月27日、国連総会は拘束力のない決議第68/262号を可決し、クリミア住民投票は無効であり、クリミアのロシアへの合併は違法であると明言しました。

4月15日、ウクライナ議会はクリミアがロシアに一時的に占拠されていることを明らかにしました。

# 日本のコイル切手

## ～昭和コイル切手を中心に～

伊藤 純英

### はじめに

公益財団法人日本郵趣協会九州・沖縄地方本部では毎年7月に「筑後地方切手のつどい」というイベントを行っている。講演と盆回し・テーブルバザー・抽選会が中心の今では珍しくなった切手のつどいである。例年60～80名ぐらいの参加者がある。そこで本部長として講演を引き受けて今年で5回目となった。

- 2012 中国郵趣事情
- 2013 勅額切手物語
- 2014 無目打エラ一切手の系譜
- 2015 満洲郵便史
- 2016 日本のコイル切手

というものである。参加者の興味関心が様々なため、間口を広くした講演を心掛けている。今年の講演の中から、私の最も心を傾けて収集している昭和コイル切手について少々述べてみたい。

さて、大きな郵便局の前には、以前には普通に設置されていた切手の自動販売機であるが、もう見かけることがなくなってから久しい。調べてみると、2007年7月の郵政民営化に伴っての自動販売機撤去だったらしい。というわけでその自動販売機で売られていたコイル切手がなくなってから9年が経つことになる。

日本切手におけるコイル切手の位置づけは、郵政側からみれば「新切手ではない」というひとことに尽きる。そのため初期の切手においては初日カバーが積極的に作られることはなかったし、いわゆる「みほん切手」も存在していない。

収集家サイドから見れば、発売局が限定されており、いつでも買える切手ではないため、まず入手に苦労する切手であった。のみならず、未使用切手の入手もさることながら、それを使用した切手なり郵便物にいたっては極めて少ないという結果になるにいたった。

今回の講演では、1933年発行の田沢型コイル切手から平成切手のコイル切手までの33種類の切手について概観を述べてみた。中でも16番目の50円コイル切手からは、私が上京して実際に自動販売機から購入して切った切手群であり、今まで特に意識して整理してこなかったもので、それも兼ねて今回まとめてみたのである。

# 和欧文機械印トピックス（第10回）

水谷 行秀

## 標語異順序使用（1）

これまでに紹介してきた通り、和欧文機械印には3種類の標語が存在し、

- ①「あて名には郵便番号を」
- ②「郵便番号をお忘れなく」
- ③「郵便番号はハッキリと」の順番で使用された。

途中で配備された局は①が使用されず②からというところもあった。また、②を飛ばして①→③とした局もあった。念のためパターンを列記すると①→②→③、①→③、②→③、③、の4パターンがある。

ところが今回紹介する横浜中央では、①→③→②→③と一旦①から③に移行した後に②を使用し、そのまた後に③に戻した。具体的に確認している年月日を入れてみよう。

横浜中央郵便局は、1968年12月1日に、最初に和欧文機械印を使用開始した9局の中の1局として①の標語で試用を始めた。そして1972年7月1日に③の標語に替えた。

ところが1973年7月に入って突然②の標語を逆行して使い始めた。そして2-3カ月経った1973年9-10月に③の標語に戻して落ち着いた。

横浜中央局での②の標語の使用はしばらくの間存在を知られていなかった。故丸島氏の「現行押印機使用状況」にもリストされていないくらいである。1998年になってから故野村紀夫氏が半影ながら初めてその存在を「SEVEN」誌に発表された。

その後私見では6点を確認しており、最も早い日付は1973年7月6日（図1）で最も遅い日付は同年8月25日（図2、次ページ）である。



図1 標語「郵便番号をお忘れなく」

# 農地委員会委員選挙郵便

行徳 国宏

## はじめに

日本の国政選挙郵便は作品として集大成され、出版されたものがある。切手展に出品され、上位入賞された作品もある。同じ公選選挙郵便である農地委員会委員選挙郵便は歴史が短い、まず現物選挙葉書が見つからない。選挙日付印もない。関心が向けられない最大の理由は、農地改革に関連した選挙郵便ということで、都市出身、都市在住の方には関心がなくても仕方がないだろう。どこかの会報に単発的に1、2通発表された事例はあろうかと思われる。

以下に4通を掲載するが、内2通はかれこれ30年くらい前に手に入れたもので、長年、会報原稿のネタにできなかった。最近2通（千葉県の例）を手に入れたので、投稿することにした次第である。

## 1. 戦後の農地改革

昭和20年12月、GHQ最高司令官マッカーサーは日本政府に対して、「農地改革に関する覚書」(SCAPN-411)を送り、「数世紀にわたる封建的圧政の下日本農民を奴隷化してきた経済的桎梏を打破すること」を指示した。日本政府はGHQの指示により農地改革案（第1次）を作成した。

改革案の内容は、

1. 市町村の農地委員会の構成を地主5、自作農5、小作農5とした、
2. 農地委員会の選挙は実施しない、
3. 農地の強制譲渡はしない、

など地主側に立つ議員の意向が色濃く出ていて、また農地委員会の構成は地主に利するというので、総司令部から強い不満が寄せられた。(以下、引用文献番号①、④)

『GHQは日本政府自身による具体的改革案の検討には無理があると判断し、この農地改革案（第1次）を全面的に否認した。米、英、中、ソ4カ国からなる対日理事会に付託して農地改革案を審議してもらうことにした。ソヴィエト案とイギリス案が出され、最終的には後者の案による妥協が成立した。GHQはこれを受けて、より徹底的な第2次農地改革案の実施を日本政府に勧告した(③)

第2次農地改革案は、GHQの勧告案に部分的修正と補充を加えられた後、21年7月15日に「農地制度改革の徹底に関する措置要綱」として閣議決定され、10月21日帝国議会で「自作農創設特別措置法」と「農地調整法改正案」が公布され、第2次の農地改革が実施されることになった。(②)

# 切手別納郵便制度への追記

行徳 国宏

本誌第11号に投稿した主題の制度に関して、追記すべき改正がもう一つあった。それは切手別納郵便の名称が「料金別納郵便」に改称後の年度である。

昭和20年2月1日

20年1月18日付け運輸通信相令第2号の「戦時、事変又は非常災害時に於ける郵便業務運行に関する件」を報じた「通運第36号」より。

「今般省令第2号を以て戦時、事変又は非常災害時に於ける郵便業務運行に関する件改正せられ之に基き告示第19号を以て来る2月1日より郵便物の取扱に関する特定施行せらるることとなりたる…為、現行省令を補正強化すると共に之に基き現下の事態に於て緊急措置を要する事項を告示に依り実施せんとするもの…（以下略）」

その「第2 告示を以て措置したる事項」の2と3から、主題の改正事項を以下に引用する。

## 2 書留又は価格表記郵便物の料金納付方法

郵便切手の使用を節減して切手の潤滑なる供給に資する為、書留又は価格表記と為す郵便物は…個数に拘らず料金別納と為さしむること。本料金別納郵便物は無集配郵便局に於ても引受くと共に料金別納印を押捺することとしたこと。

## 3 料金別納と為し得る郵便物

前号と同様の目的を以て、料金別納と為し得る郵便物は料金額同一の郵便物にして同時に20個以上差出すを以て足り個数の制限を緩和したる外種類及差出人の同一なることを要せざることにしたること。

省令第2号は「戦時特例」として理解され、引用されてきた。昭和20年に差出された書留郵便に切手が貼付されず「料金別納印」が押捺されたものを見かけるが、これは主題の「料金別納郵便」ではない。

主題の「料金別納郵便」は、昭和14年11月1日施行の「同一差出人より同時に50箇以上差出されるもの」から、昭和20年2月1日施行の「個数の制限を緩和し」「料金額同一の郵便物にして同時に20個以上差出す」もので「種類及差出人の同一なることを要せざる」ものになった。

この実例を示す郵便物には昭和21年3～4月の（葉書裏面の日付を持つ）国政選挙郵便葉書がある。図1は昭和21年4月の国政選挙郵便で、「料金別納郵便」の表示を印刷した私製葉書、図2は図1と同じ「料金別納郵便」表示の国政選挙葉書で、どちらも右書き表示になっている。

参考文献；行徳 国宏『戦後の郵政資料（第1巻）』平成15年12月刊、1～3ページ。

## コレクションの作り方

国内競争展で初めて 75 点以上を獲得したフィラテリストに贈る  
国際展初攻略大作戦

菊地 恵実

リーフの作り方

重山 優

## 国内競争展で初めて75点以上を獲得したフィラテリストに贈る 国際展初攻略大作戦

当誌編集スタッフの菊地恵実さんは、第1次昭和切手の収集を開始して約1年ですが、先日開催された全日本切手展2016で、76点を獲得しました。

国際郵趣連盟（以後、FIPと略す）やアジア郵趣連盟（以後、FIAPと略す）は、FIPルールに準拠して審査される国内展水準の競争展で、10年以内に75点以上相当を獲得した作品に対して、国際切手展（アジア切手展）への参加資格を与えています。（GreX 10.1）

現在のところ、日本で、全日本切手展及びJAPEXが該当する国内競争展ですので、同展覧会で76点を獲得した菊地さんの作品は、国際展（アジア展）への参加資格を獲得したことになります。

もっとも、それは単にエントリー資格をクリアしただけで、まだ始まりでしかありません。

菊地さんの作品は、国際展出品作品の記述言語として認められていない、日本語で制作されていますので、その全てを英訳しなければなりません。また各切手展の個別規則（その中には展示できるリーフサイズも個別に規定される）を理解した上で、エントリー申請をきちんとして、各切手展実行委員会に、出品を受諾してもらわなければ、現地で展示してもらうことはかないません。

これらの約束事は、国内展に出品した経験しかない人にとっては、予想のつかないことも多いので、今回、菊地さんをモルモット 良いサンプルに国内競争展で初めて75点以上を獲得されたフィラテリストに贈る「国際展初攻略大作戦」を、会話形式を中心にとりまとめました。

### 某月某日、フィラテリスト・マガジン 編集会議にて。

吉田（以下、吉と略す。）「えーと。そもそも国際競争切手展に出品したいのですか？」

菊地（以下、菊と略す。）「もちろんです。1年前から出す気満々でしたよ。」

吉「そうですか。菊地さんの作品は、僕から見て、構成の点からもマテリアルの点からも、十分国際展で通用するレベルに育っていると思いますよ。上位の賞を獲れるかどうかはまた別ですが。」

菊「アジア展も含めて国際展は初めてですし、1次昭和切手を収集されている諸先輩のコレクションと比べれば自分の展示しているマテリアルの貧弱さは理解しているつもりですので、いきなり上位の賞など難しいことは理解しています。無事に自分の作品が海外で展示されているのを確認できれば、もう本望です。」

## リーフの作り方

重山 優

私のメインの収集範囲は外国切手ですが、切手展等の他人に見せる事を意識せずに日本記念、特殊切手の使用済みコレクションを進めています。使用済みコレクションと言っても、厳選された、こだわりの一品が並んでいるわけではなく、基本的にはカタログコレクションであり小学生の頃から少しずつ時間だけは掛けているものです。また、資金的に余裕があるときにしか入手しませんから、オークション等で高値を呼びそうなには見向きもせず、ただひたすらリーズナブルなお値段のものを入手するようにしています。そのため、アイテムの代金より送料の方が高いということもしばしばです。

なぜ、このような事をしているかという、一つのテーマをずっと追いかけていると必ず壁にぶつかると思います。その時の気分転換の意味もありますし、複数のテーマを持つ事で物欲を満たすという効果もあります。

ただ、全く自由に集めていても途中で飽きてしまいますから、ある程度のこだわりを自分の中のルールとして作っています。厳格に決めているわけではありませんが、大体以下のようなものです。

1. 見た目優先。いわゆる満月印にはこだわらずに出来るだけ切手のデザインが損なわれておらず、切手の状態が良いとモノを選ぶ。また、1960年代以降の切手は最近使用された使用済みは避けて、発行日に近い日付あるいは近いと思われる消印を選ぶ。波消し（棒消し）はコレクションに加えないようにする。
2. 消印の種類にはこだわらない。例えば、鉄道郵便印や年賀印など、特殊な消印は入手できたらラッキーと考え、深追いしない。
3. カバーは全種類の切手について揃える事はせずに1つのシリーズ（1年分の記念切手）で1通から数通以内として希少な使用例にはこだわらずに見たと価格で決定する  
料金の合わない、セット全部を貼った記念カバーは、ルックスが良ければコレクションに加える事も検討する。
4. 使用済みのコレクションではあるが、入手出来ない（またはまだ入手していない）切手については未使用を入れておいて出来るだけ空白を作らないようにする。

次ページ以降に、私の方法を順に説明して行きましょう。

## 郵趣活動の記録

Thailand2016 (受賞記録抜粋)	編集部
全日本切手展2016 受賞記録抜粋	編集部
全日展2016 参観記	長野 行洋
古今東西郵趣文献書評 最近の情報 150号記念 (小判振舞処)	木戸裕介
ジャパNSTAMP オークショニアレポート	鯛 道治

# Thailand2016

2016/8/10(水) - 15(月) に、タイ・バンコク市のモール・ガムウォンワン・コンベンションセンターで開催されたアジア切手展の受賞記録です。(抜粋)

## アジア展・グランプリ選考結果

### 1) アジア展・グランプリ・ド・ヌール (Grand Prix D'Honneur)

WWII Surcharges of the Chinese Republic (Chen Yu-An, Chinese Taipei)

同候補

Pre-adhesive Postal History of Macau 1797 - 1864 (Choi Cheong-too, Hong Kong)

### 2) アジア展・グランプリ・インターナショナル (Grand Prix International)

The 1897 Red Revenue Surcharges of China ( Ding Jinsong, China )

同候補

Postal History of Brazil 1795-1877 ( Shoda Yukihiro, Japan )

### 3) アジア展・グランプリ・ナショナル (Grand Prix National)

Siam until 1900 ( Krishnamara Ayuth, Thailand )

## 日本人の出品作品の受賞結果

部門	作品	出品者	結果
伝統郵趣 (タイ)	Siam Classic	Iwasaki Zenta	86 LV
伝統郵趣 (AO)	Japan: Showa Series, 1937-46	Itoh Sumihide	88 LV
郵便史 (AO)	Postal Marketing of Tokyo Tama County 1872-1909	Chikatsuji Kiichi	77 LS
郵便史 (AO)	Foreign Mail in Nagasaki, Japan 1875-1905	Itoh Sumihide	86 LV
郵便史 (その他)	Postal History of Brazil 1795-1877	Shoda Yukihiro	96 LG+SP
航空郵趣	Airmails Carried by Graf Zeppelin	Tatsukawa Kenichi	81 V
テーマティック (文化)	Czeslaw Slania -The World of Engraving stamps	Murayama Ryoji	75 LS
単行本	Pictorial records and unknown historical episodes: Stamps and Mail under Japanese Occupation of Southeast Asia	Tsuchiya Masayoshi	73 S
単行本	New Year's Mails and History of the Greeting Stamps	Japan Philatelic Society	77 LS
単行本	Visual Japanese Stamp Catalog Vo1.1. Vo1.2. Vol.3. Vol.4	Japan Philatelic Society	82 V
ワンフレーム	Japanese High -Value Definitive Issue "Fujiwara-no-Kamatari 5 Yen" 1939-1948	Ikeda Kenzaburo	84
現代郵趣	Ukrainian Inflation 1992-1996	Ito Fumihisa	85 LV+SP

# 全日本切手展 2016 受賞記録抜粋

2016/7/22(金)～24(日)に、東京、錦糸町のすみだ産業会館 8 階で開催された切手展の受賞記録

## 文献以外の競争部門の結果

部門	作品名称	F	出品者	結果
チャンピオン	手彫切手	8	祖父江 義信	LG(97)
	飛脚 1601-1873	8	山崎 好是	LG(93)
	手彫証券印紙 1873 -1874	8	長谷川 純	LG(96)
伝統日本	手彫切手	5	瀧川 忠	V(77)
	旧小判切手 (1876-1879)	3	村上 信和	V(78)
	菊切手時代の外地局加刷切手	4	太田 克己	V(76)
	田沢旧大正毛紙切手	5	丹羽 昭夫	G(85)
	第 1 次昭和切手	5	菊地 恵実	V(76)
	昭和切手と大東亜共栄圏	5	和田 輝洋	V(76)
	第 3 次昭和切手	3	濱谷 彰彦	SB(63)
	第 1 次新昭和切手	5	遠藤 浩二	V(76)
	新昭和切手	4	飯澤 達男	V(76)
	第 2 次動植物国宝切手	3	矢嶋 秀明	LS(71)
	第 3 次動植物国宝切手	5	吉田 敬	LV(83)
	新動植物国宝 10 円ニホンジカ・20 円マツ	3	北野 雅利	B(56)
	切手帳	5	加藤 秀夫	LV(81)
	戦前の記念切手 1894-1944	5	田邊 幹夫	V(78)
	第一次国立公園 (1949-1956)	5	宇佐見 比呂志	V(75)
	Ryukyus Currency Conversion Provisional Series 1958	5	石澤 司	LS(74)
	琉球 (1948～58)	5	太田 克己	LS(71)
	満州国、1 次 2 次 3 普通切手	3	川崎 徹夫	LV(80)
	南方占領地切手蘭領東インド ジャワ	5	増山 三郎	LV(83)
	国内はがきの外国宛使用	5	安藤 源成	LV(80)
手彫証券印紙	5	浅野 周夫	LS(73)	
伝統外国	アメリカ合衆国の黎明期から建国 200 年前夜まで (1935-1973)	3	瀬崎 直行	佳作 (53)
	アルゼンチン連合 (1858&1860)	5	佐藤 浩一	G(89)+SP
	Romania King Ferdinand Series 1920-1926	5	木戸 裕介	LV(83)
	IMPERIAL KOREA	5	岩崎 善太	G(85)+SP
	米国自動販売機及び自動貼付機用コイル切手 1906-1926	5	奥山 昭彦	G(86)+SP
	Napoléon non lauré - フランス 1852～1862 -	5	有吉 伸人	LG(90)+SP
郵便史日本	関東大震災直後の郵便	3	藤岡 靖朝	SB(63)
	日清戦争から日露戦争における日本の軍事郵便	5	志水 正明	LV(84)
	日本の軍事・俘虜郵便 (大正編)	5	森下 幹夫	S(66)
	名古屋局の郵便史	4	若園 泰三	LS(72)
	東京・多摩の郵便印	4	長野 行洋	SB(60)
	越後への鉄郵ルート	3	青木 章博	B(55)
	日本局を中心とした中国東北の郵便	5	小林 富士夫	LS(73)
郵便史外国	Postal History of the Cape of Good Hope	5	池田 健三郎	LV(84)
	スロベニア郵便史 1809 -1921	5	人見 敦	LV(84)
	ウクライナインフレ 1992-1996	5	伊藤 文久	V(78)

# 全日展2016参観記

長野 行洋

昨年より1週間遅い7/22、23 恒例となったJR錦糸町駅前丸井8F・すみだ産業館で、全日本切手展2016が開催された。昨年同様準備の前日と当日はまだ梅雨のなごり、土・日の午前中までの日差しは涼しかったが、さすがに日曜の午後は夏がやって来た。

今年の企画展示は、8月リオ五輪に向け、市村正生貴氏「第一回オリンピック・アテネ大会記念切手」ダイプルーフが確認の全種の眼福作品と国際展大金賞受賞の正田幸弘氏「ブラジル郵便史」プレスタンプから1番切手「牛の目」の初日使用2点はじめ、大河8フレーム。初日午前中には、首都圏ローカルながらNHKで「オリンピック・ブラジル切手」として紹介、放映された。

もうひとつの企画展示は小判切手発行140年を迎え、小判の至宝・設楽光弘氏の「旧小判切手」。国際展3度大金賞でチャンピオンクラス入りした8フレ作品に普段日の目をみない愛着の厳選カバー2フレと、こちら国内で拝見できる喜びも一入。2日目午後ご本人の解説にも、小判ファンはじめ鈴なりの人であった。至宝のオマケの最終フレームにも、最近入手された手彫1銭・旧小判1銭黒・茶の3世代異種同額面外信カバーが、今も変わらぬ狩人魂に開いた口が。例によって、敬称略にて失礼。

## チャンピオンクラス

国際展金賞以上3作品、いずれも大金賞。

「手彫切手 1871-1876」(愛知・祖父江義信、右リーフ) 三度の国際展で金賞受賞。1876年の本格的な手彫収集時50枚からの、収集遍歴も含めた、ご本人作品解説が2日目に2回。20銭縞紙他の大珍品だけでなく、安い低額切手と高額切手のバランスを常に心がけ、手彫切手全般に変わらぬ愛情を注ぐ姿勢と、薄い和紙にグレーのザブトンは透けてしまうので、白い紙との二重ザブトンをと、素人にも判り易く好評だった。

昨年に引き続いて「飛脚 1601-1873」(東京・山崎好是) 武田信玄の書状はじめ古文書の時代から、飛脚まで毎度毎度歴史のお勉強。

以上2作品は、鳴美より作品集が出版。今回全日展文献部門でも、前者・大金銀賞、後者金賞。けっして、高く



お次はどきどきペリクダ!

## 号外発行のお知らせ

これまでフィラテリストマガジンが勝手に応援してきた、3回の全日本切手展。非公式の参観ガイドは毎回、参観者・出品者そして審査員にまで好評を博しています。

「JAPEXの参観ガイドも発行してほしい!」そんな、ご要望は昨年までも多数いただきました。でもマンパワーの関係で昨年までは対応できませんでした。

今年はマンパワーを確保できましたので、満を持して号外(参観ガイド)を発行いたします。11月1日頃発行予定。無料ダウンロードも提供予定です。

stampedia  
スタンペディア日本語版 機関誌  
The Philatelist Magazine  
号外 全日本切手展 2015 参観ガイド

第65回  
全日本切手展2015  
前島密生誕180年記念

7月17日(全)~19日(日)  
午前10時~午後5時  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
すみだ産業会館8階  
(前島密生誕180年記念切手展会場)  
入場料:大人500円  
小中学生200円

小型印の押印サービス  
第1会場 すみだ産業会館  
第2会場 郵政博物館  
第3会場 郵政博物館  
第4会場 郵政博物館

【全日本切手展2015実行委員会、公益財団法人集郵文化協会、日本郵政連合会、日本郵政株式会社、公益財団法人切手文化振興会、日本郵政科学振興協会、【社】公益財団法人日本郵政協会】

The Philatelist Magazine  
当該は、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が運営する「スタンペディア日本語版」の会員向け機関誌です。機関誌は年4回PDFで発行され、年会費(2,000円)を納めた会員には発行の都度登録Eメールに通知があり「マイ・スタンペディア」よりダウンロードできます。また印刷して読みたいという要望に応えコピーレシホキスで綴じた紙版をお送りするサービスも提供中です。

### JAPEX2016 出品者のみなさまへ

「JAPEX2016 参観ガイド」のメインコンテンツは、出品者による「私の作品の注目ポイント」です。紙幅に制限のある出品目録では語り尽くせない、展示作品を見るにあたり必要な事前知識の紹介や、作品の解説、そして展示マテリアルの紹介など、みなさんの本音をどうぞお寄せください。

### お送り頂きたいもの

1. 文章(テキスト): 作品参観に役立つならば内容は自由です。ページ数は、少ない方で1ページ、多い方で10ページ程度の割り当てが可能です。ページ数に制限のないPDF雑誌ですが冗長にならぬ様、編集についてはお任せ下さい。手書きの原稿も歓迎いたします。
2. リーフもしくは郵趣マテリアルの画像: カラーコピーの郵送、もしくは200DPIによるスキャン画像を添付ファイルとしてメールでお送りください。

### 原稿〆切と送付先

郵便の場合: 2016/10/24 到着分まで。102-0083 海事ビル内郵便局留置 吉田敬

メールの場合: 2016/10/26 到着分まで。tpm@stampedia.net

※短期間での編集になるため、10/14以降の到着分については、校正できません。

あらかじめご了解いただき、編集についてはお任せください。

※ご郵送頂いた原稿、コピーについては原則として返却しません。

販売: 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

# 古今東西郵趣文献書評

## 最近の情報 150号記念

### 小判振舞処

木戸裕介

僭越ながら、入会しておそらく一番日が浅いであろう私が書評を書かせていただくことになりました。

小判切手の製造面データの共有に端を発し、小判時代の製造面、郵便史全般を対象とした研究誌「最近の情報」が、150号を迎えました。

先に発行された『最近の情報 100号記念』、『最近の情報発信 10周年記念』の2冊は、入会させていただき前より買っていました。興味はあるものの、その時代の知識には疎く、入門書やカタログには記載のない知識が得られることに魅力を感じ、大学の講義中に何度も何度も読みました。その150号が出たのですから、入手を楽しみにしていたところです。

日頃の情報発信の節目として発行された同記念誌は、小判時代、小判切手をあらゆる角度から扱い、その時代を収集するフィラテリストにとって、なくてはならないコンテンツとなっています。

今回の記念誌でも、製造面のデータ研究の足跡、小判切手に影響を与えた外国切手、記番、二重丸、ボタ等のマルコフィリー、未納還付郵便などの郵便条例に関わる郵便史など、会員の寄稿記事の扱う範囲は多岐に渡ります。

会員の方々の研究レベルは高く、寄稿を集めた体裁にもかかわらず、後世に残していくべきデータ、収集の原動力となる刺激的な知識にあふれています。

さらに、本記念誌では、全日本切手展 2016 に展示された『小判5厘切手』、『京都と伏見』、『小判往復はがき』が、オールカラーで全リーフ掲載されています。実際に切手展に出品された同時代の作品は、カタログや文献上での知識を超越した内容で、蓄積されたデータをベースとしたオリジナルスタディにあふれています。

本記念誌は、まだ発行されたばかりで、私の手元に来てからも日は浅く、繰り返し読みたい箇所がいくつもあります。通勤カバンの中から本棚へ移すのは、まだ先のことになりそうです。

最近の情報150号記念

平成28年8月

小判振舞処

# 最近の情報 150号記念

小判振舞処発行

目次		
伝統郵趣		
小判切手製造面の探究 12年半	長田 伊玖雄 (10)	2 ~ 11
田型実用素版のつなぎ合せ方について	田畑 裕司 (2)	12 ~ 13
新小判切手の版別収集の愉しみ	山田 廉一 (4)	14 ~ 17
15 銭の使用済 10 枚で 150 号記念	梅原 徹 (2)	18 ~ 19
オークションの思い出	城野 隆三 (2)	20 ~ 21
小判切手上的偽消印	水口 公秀 (2)	22 ~ 23
新小判 15 銭 切手	渡辺 修 (4)	24 ~ 27
テーマチック小判切手その後	長野 行洋 (4)	28 ~ 31
小判切手より 10 年以上前にナウマン社が製造した切手	吉田 敬 (6)	32 ~ 37
郵便史、郵便印関連		
大型ボタ印使用局と官吏派遣局	立山 一郎 (8)	38 ~ 45
第 2 次拇太印使用局の二重丸印	平尾 勉 (2)	46 ~ 47
相模・藤澤の郵便印 事始め	鎌倉 達敏 (4)	48 ~ 51
小判 1 銭茶、2 銭紫の小型ボタ印	小寺 雅弘 (2)	52 ~ 53
外国郵便の国内料金使用例	五屋 邦保 (2)	54 ~ 55
未納還付郵便物について	今後の課題	古家 美和 (2) 56 ~ 57
京都府官民往復郵便葉書・封皮	佐々木義郎 (4)	58 ~ 61
品川局が東京市内局扱い時代の使用例	北川 丈二 (1)	62
悩ましき消印 静岡 KB2 型印	長田 伊玖雄 (1)	63
ある消印収集の話	滝井 春雄 (4)	64 ~ 67
元山局丸一型印の新小判 8 銭使用例	近藤 守雄 (2)	68 ~ 69
手彫、小判時代の郵便局の使用例 (消印)		
— 「新版・明治郵便局名録」のデータ集計—	高野 昇郎 (6)	70 ~ 75
和桜 2 銭貼り電報、切手つき封筒・小判 (大型) の KG 印	村岡 博 (2)	76 ~ 77
特別寄稿		
上野国の郵便史 渋川	設楽 光弘 (28)	78 ~ 105
全日本切手展 2016 出品作品		
小判 5 厘切手 (金銀賞)	長野 行洋 (16)	108 ~ 123
京都と伏見 (大銀賞)	近辻 喜一 (16)	124 ~ 139
小判往復葉書 (大金銀賞)	石代 博之 (16)	140 ~ 155
編集後記		156

A4 判 約 156 ページ・カラー 6,000 円 (送料別)

スタンペディア郵趣文献ショップで販売中

# ジャパンスタンブオークションニアレポート

鯛 道治

2016年8月27-28日の93回フロアセールレポートです。普段なら、セールが始まるまで、場で数字が動く前に書くべきテーマが決まるのですが、今回は正直予想外でした。結果が出て、初めてマテリアルを見つめなおして書いていきます。

**Lot1157 2新昭1.5円第2角田型逆櫛 NH 糊つや少 RC 気味**

最低値 15,000 応札 8 スタート 240,000 落札値 360,000



目打穿孔時の用紙のセットが、天地逆になったエラーです。同種の物で有名なのは、1次昭和の乃木2銭ですが、1シートだけの存在です。識者によれば、2次新昭和では他額面にもあるとの事ですが、手元の文献ではその記載を見つけることが出来ませんでした。今回のアイテム、ひょんなところからの出品でしたが、伝手を遡って、おおもとの所有者が確認出来ました。都の大御所です。手彫から菊まではご本人の蒐集分野なので、どんな珍品をお持ちでも不思議ではない方です。

2次昭和のシートを出品されたときに聞きました。糊付大日本が2種有ったので、何でこんなものかと思ったのです。答えは、白石智勇さんに、持っておけと勧められた・・・成る程と思いました。他の人では有り得ない知識をお持ちだった人です。1.5円の逆櫛も、そうかどうかは分かりませんが、所有者が知らずに買ったロットの中に混ざっていた可能性は無いでしょう。勧められて買ったのなら

## あとがき

前号で、今年の夏は時間にポッカリ余裕ができるので、何か新しい仕掛けを考えようかな、と書きましたが、おかげさまで充実した夏を過ごすことができ、とあるプロジェクトを近日発表できるところまでできました。残念ながらフィラテリストマガジン第12号では発表できませんでしたが、来月には大々に発表することができると思います。日本の郵趣振興にとって大きな役割を果たすものになると思います。

個人的にもメインコレクションの収集が進捗するとともに、魅力的なサブ収集範囲が新たに二つ見つかりました。その二つは、数年前の自分であれば「何故そんなところを集めているの?」と問いただしてしまうような収集分野なので、人間の興味・関心の度合いなど揺らぐものだな、と感じます。

残念なのは書籍執筆の遅延で、特に再三にわたり発行を延期している「競争切手展に出品するリーフの作り方」につきましてはお詫び申し上げます。第12号、スタンペディアフィラテリックジャーナル、フランス切手カタログの優先順位をあげている関係で、まだ発行日が見えませんが、年内には何としても発行したいと考えております。

ところでフィラテリストマガジン第11号で委託販売広告の掲載を始めましたが、おかげさまで成約商品が登場し、媒体としての価値を改めて感じるとともに、一過性の企画とせず、今後、同企画を継続的に実施してまいりたいと考えております。今月は一商品二点のみですが、来月は質・量ともにさらに充実させて提供いたしますのでご期待ください。また委託販売商品は広く取り扱いますので、ご関心ある方はお問い合わせください。

書名：ザ・フィラテリストマガジン  
 号数：第12号（2016年秋号）  
 発行日：2016年9月15日  
 発行者：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社  
 発行人：吉田敬  
 編集部：北川朋美、山田はるか、菊地恵実  
 \* 当誌は「スタンペディア日本版」の機関誌です。

Name of the magazine: The Philatelist Magazine  
 Number: 12th (2016 Autumn issue)  
 Date of issue: Sept. 15th 2016  
 Publisher: Stampedia, inc.  
 Editor: T. Kitagawa, H. Yamada,  
 E. Kikuchi

<広告>

日本のフィラテリーを世界にバイリンガル・フルカラーで発信する雑誌  
2011年の創刊から今年で6年目を迎えます  
現在編集集中の最新号は11月に発行予定です



お求めは、下記の切手商、オークションハウスまでどうぞ。  
郵趣サービス社、切手の博物館ミュージアムショップ、川口スタンプ社  
ユキオスタンプ、ジャパNSTAMP商会、エージェントスタンプ

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社